PM-T990

ネットワーク詳細設定ガイド

本製品をネットワーク複合機として使うために必要な情報を詳しく説明しています。
また、各種トラブルの解決方法やお客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。
目的に応じて必要な章を参照してください。

NPD2380-00

マークの意味

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには以下のような意味があります。

! 注 意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品が損傷したり、本体、ドライバやソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

補足説明や参考情報を記載しています。

関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.4 の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition Operating System 日本語版
本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ「Windows 98」、「Windows Me」、「Windows 2000」、「Windows XP」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 2000/XP」のように Windows の表記を省略することがあります。

Mac OS の表記

本製品が対応している Mac OS のバージョンは以下の通りです。
Mac OS X v10.2.8 以降
上記の OS の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをまとめて Mac OS X と表記していることがあります。
アップルコンピュータ社製のコンピュータを総称して「Macintosh」と表記していることがあります。

商標

ご注意

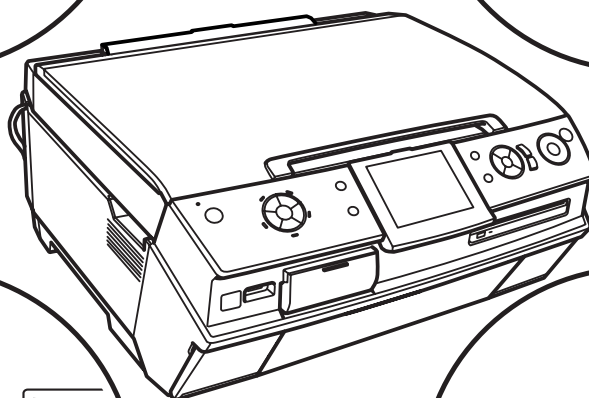
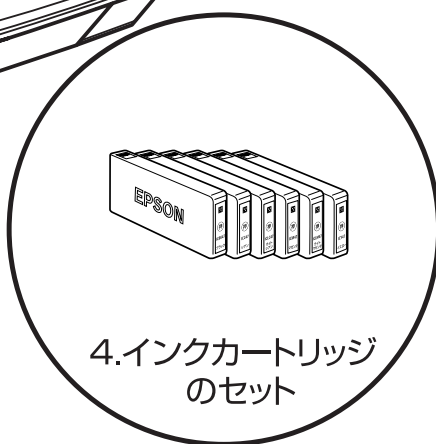
もくじ

1 設定の前に

本製品を接続するネットワーク環境と、本製品を使用するパソコンのネットワーク設定を確認します。

本製品の確認

ネットワークの設定を始める前に、本製品でネットワーク設定以外の準備が終了していることを確認してください。準備の詳細は、「準備ガイド」－「本体の準備」を参照してください。

☞「準備ガイド」（紙マニュアル）

ネットワーク環境の確認

本製品のネットワークへの接続方法（無線 / 有線）に合わせて、パソコンから本製品までの通信経路を確認します。

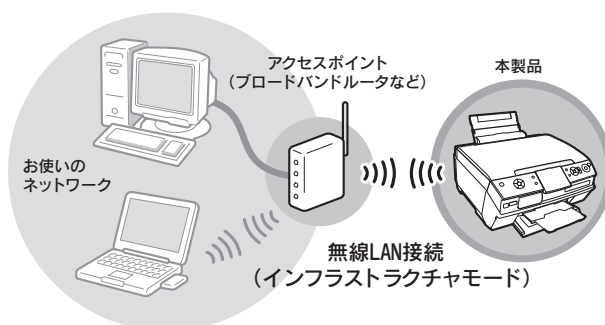
- 本製品を無線 LAN で使用する場合
  ☞ 本書 7 ページ「本製品を無線 LAN で使用する」
- 本製品を有線 LAN で使用する場合
  ☞ 本書 8 ページ「本製品を有線 LAN で使用する」

また、お使いの環境でパソコンやアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）に設定してある値なども合わせて確認します。

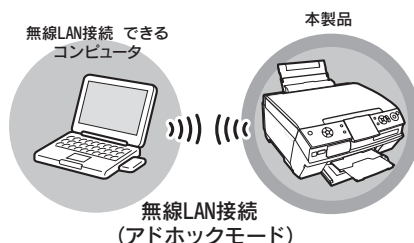
☞ 本書 9 ページ「設定内容のメモ」

本製品を無線 LAN で使用する

アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）経由で通信する場合（インフラストラクチャモード）

お使いのネットワーク環境にアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）があるときは、本製品を無線接続してお使いいただけます。このとき、本製品はインフラストラクチャモードに設定します。

- アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）のサポートする通信プロトコルや機能などの仕様を十分に確認した上で、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）をご使用ください。
- この環境で使用するにはアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）の設定が済んでいる必要があります。詳しくは、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）の取扱説明書を参照してください。
- アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）が有線 LAN に接続されているときは、同じ有線 LAN 環境に接続しているパソコンからも、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を通じて本製品を使用できます。

無線で直接通信する場合（アドホックモード）

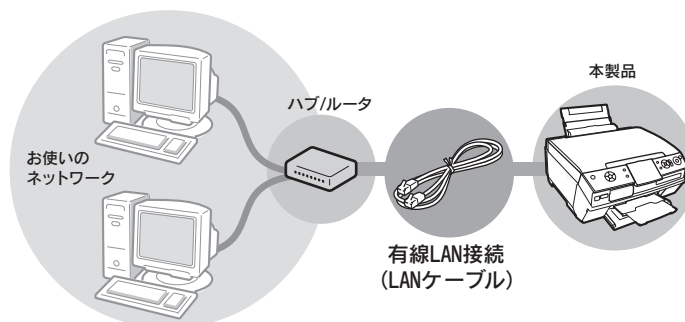
アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）が設置されていない環境で無線接続して本製品を使用するときは、本製品をアドホックモードに設定します。

お使いのネットワーク環境について、パソコンやアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）の設定値を確認したら、設定内容を以下のページに書き留めてください。本製品の設定をするときにこのメモを参照します。

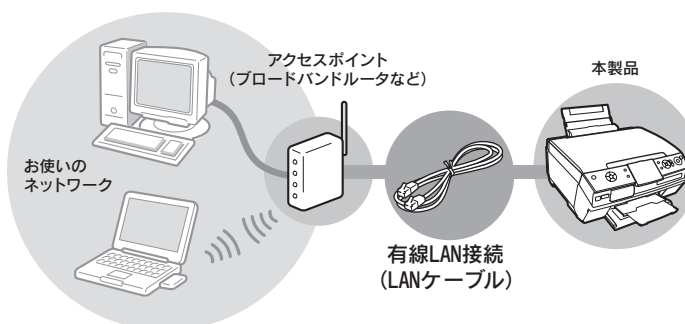
☞ 本書 9 ページ「設定内容のメモ」

本製品を有線 LAN で使用する

本製品を有線 LAN 接続で使用するときは、本製品の無線に関する設定は必要ありません。

有線のみで通信するネットワークの場合

ハブ / ルータ経由で通信するときは、本製品とハブ / ルータを LAN ケーブルで有線 LAN 接続します。

アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）経由で通信する場合

アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）経由で有線 LAN 接続するときは、本製品とアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を LAN ケーブルで有線 LAN 接続します。

- アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）のサポートする通信プロトコルや機能などの仕様を十分に確認した上で、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）をご使用ください。
- アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）によっては別途ハブやルータなどの機器が必要になります。

お使いのネットワーク環境について、パソコンやアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）の設定値を確認したら、設定内容を以下のページに書き留めてください。本製品の設定をするときにこのメモを参照します。

☞ 本書 9 ページ「設定内容のメモ」

設定内容のメモ

確認した環境について設定内容をメモします。

 本製品を有線 LAN で使用するときは、無線に関する設定は必要ありません。

無線 LAN 環境のみ必要な情報

アクセスポイントの取扱説明書をご覧になって、以下の項目を確認してください。なお、WCN 機能を使用してセキュリティを自動設定するときは、以下の項目の確認は不要です。

項目	以下の欄にメモしてください
SSID（ネットワーク名）	
暗号化方式（セキュリティ）	□ WEP-64bit（40bit）/ □ WEP-128bit（104bit） □ WPA-PSK（TKIP）/ □ WPA-PSK（AES）、WPA2-PSK（AES）
WEP キー / パスワード	
WEP キー No.	□ 1　□ 2　□ 3　□ 4

参考 アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）の設定によっては、通信できる機器を制限する MAC アドレスフィルタリングを設定しているときがあります。そのときは、操作パネルの［ネットワーク情報確認］で MAC アドレスを確認し、アクセスポイントに登録して通信を許可しておいてください。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

IP アドレスを手動設定する際に必要な情報

DHCP 機能を使用して IP アドレスを自動割り当てしているときは、以下の項目の確認は不要です。

項目	以下の欄にメモしてください
本製品に割り当てる IP アドレス	＿＿＿ . ＿＿＿ . ＿＿＿ . ＿＿＿
サブネットマスクアドレス	＿＿＿ . ＿＿＿ . ＿＿＿ . ＿＿＿
デフォルトゲートウェイアドレス	＿＿＿ . ＿＿＿ . ＿＿＿ . ＿＿＿

参考
- デフォルトゲートウェイは、アクセスポイントの「LAN 側の IP アドレス」を設定してください。
- 本製品の IP アドレスは自動取得できます。ただし、IP アドレス取得後、スキャナのポートは自動追従しません。

本製品とデジタル家電を接続して印刷サービスを利用する際に必要な情報

本製品とデジタルテレビなどを接続して、インターネット上のコンテンツを印刷することができます。
本製品をインターネット環境に接続するために必要な情報を確認します。

項目	以下の欄にメモしてください	
DNS サーバアドレス	プライマリ	＿＿＿ . ＿＿＿ . ＿＿＿ . ＿＿＿
	セカンダリ	＿＿＿ . ＿＿＿ . ＿＿＿ . ＿＿＿
プロキシサーバアドレス	アドレス	
	ポート番号	

参考 ご利用のインターネット接続環境によって、接続に必要なアドレスの種類が異なります。すでにインターネットに接続している機器の設定やプロバイダから配布されている資料などを確認してください。

印刷方法の確認

印刷方法は OS によって異なります。

OS とバージョン	印刷方法
Windows 98/Me	• EpsonNet Print（LPR）印刷
Windows 2000/XP	• EpsonNet Print（LPR）印刷 • 標準 TCP/IP（LPR）印刷
Mac OS X v10.2.8 以降	• EPSON TCP/IP 印刷 • Bonjour 印刷（Mac OS X v 10.4 以降） • Rendezvous 印刷（Mac OS X v 10.2.8 ～ v10.3）

次に印刷方法の概要と特徴を参考に印刷方法を決定してください。

本製品は上記の印刷方法以外にも、UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）印刷に対応しています。UPnP 印刷をサポートするデジタル家電から印刷できます。

印刷方法の概要と特徴

EpsonNet Print 印刷（TCP/IP プロトコルを使用）

- 本製品の IP アドレスが、サーバやルータの DHCP 機能によって変更になっても、IP アドレスを自動追従します。
- Windows 98/Me からネットワーク直接接続を可能にします。
- ルータを越えた場所にある本製品（別セグメントの本製品）で印刷ができます。
- 印刷データの送信プロトコル（LPD/EPSON 拡張 LPD/RAW）を使い分けることで、印刷の速さを 3 段階から選択できます。
- Windows のスプーラ画面の上部に、本製品のステータスを表示します。

標準 TCP/IP 印刷（TCP/IP プロトコルを使用）

- Windows 2000/XP に標準搭載されている印刷方法です。
- ルータを越えた場所にある本製品（別セグメントの本製品）で印刷ができます。
- イベントビューアを使用して印刷ログ（記録）が取れます。
- Windows 98/Me では使用できません。
- IP アドレスの手動設定が必要です。

EPSON TCP/IP 印刷

- 本製品の IP アドレスが、サーバやルータの DHCP 機能によって変更になっても、設定し直す必要がありません。
- 本製品の Bonjour/Rendezvous 機能をオンにすることを推奨します（本製品の工場出荷時はオンになっています）。
- 本製品を固定 IP アドレスで使用するときは、IP アドレスを手動設定することもできます。

Bonjour 印刷 /Rendezvous 印刷

- 本製品の Bonjour/Rendezvous 機能をオンにする必要があります（本製品の工場出荷時はオンになっています）。
- 本製品の IP アドレスが、サーバやルータの DHCP 機能によって変更になっても、設定し直す必要がありません。

使用方法と印刷方法が決定したら、パソコンのネットワーク設定に進みます。
☞ 本書 11 ページ「パソコンのネットワーク設定確認」

パソコンのネットワーク設定確認

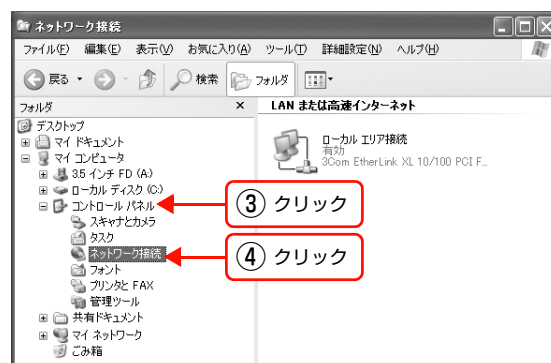
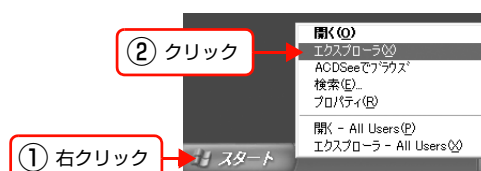
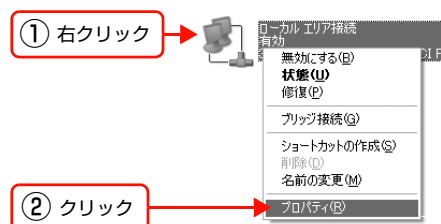
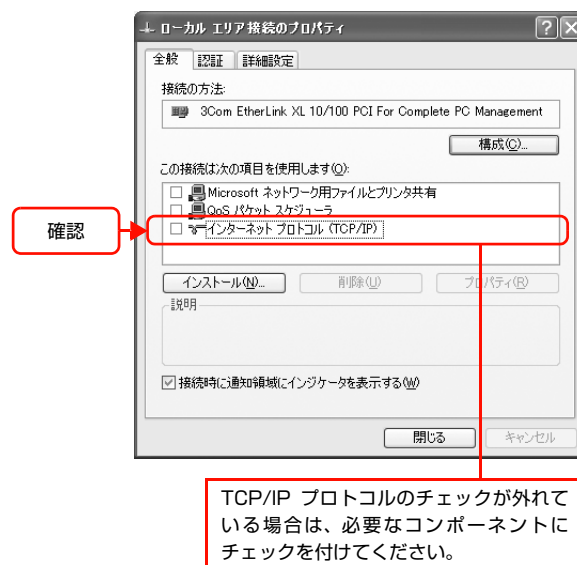
本製品のネットワークインターフェイスの設定をするときや、ネットワーク経由で印刷やスキャンをするには、パソコンにネットワーク設定が必要です。

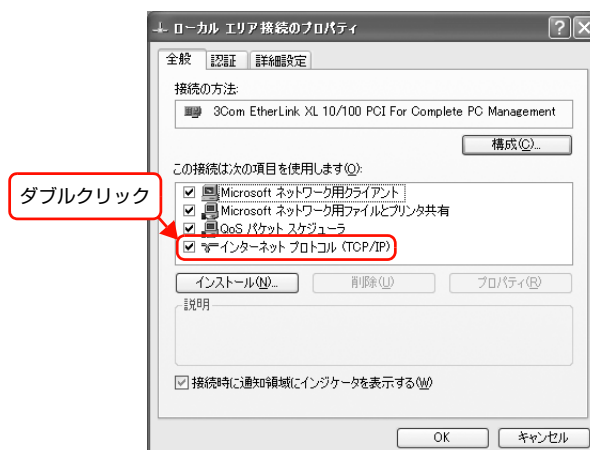
Windows 2000/XP

TCP/IP プロトコルが組み込まれており、各種アドレスなどが設定されていることを確認します。
すでに TCP/IP プロトコルが利用可能な状態になっているときは、以下のページに進んでください。
☞ 本書 22 ページ「本製品のネットワーク設定」

TCP/IP プロトコルの確認

TCP/IP プロトコルがパソコンに組み込まれていることを確認します。

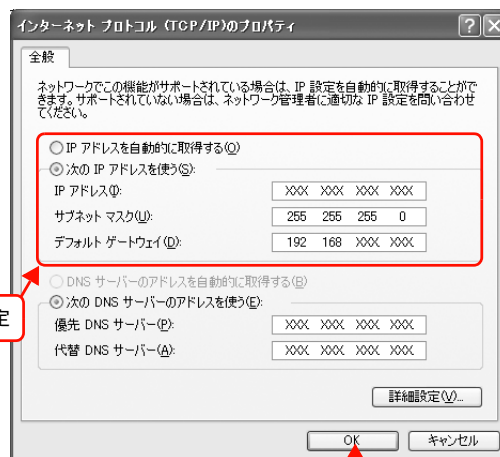
1 **[スタート]を右クリックし、[エクスプローラ]をクリックして、表示された画面で[コントロールパネル] - [ネットワーク接続]の順にクリックします。**
Windows 2000：
[マイネットワーク]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリック

2 **[ローカルエリア接続]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。**

3 TCP/IP プロトコル（インターネットプロトコル）が組み込まれているか確認します。

- TCP/IP プロトコルがすでに組み込まれており、チェックが付いている場合は手順 4 に進み、各種アドレスなどの設定を確認します。
- TCP/IP プロトコルが組み込まれていなかった場合は、［インストール］をクリックして、TCP/IP プロトコルをインストールしてください。インストールのときに、各 OS の CD-ROM を要求されることがあります。

4 ［インターネットプロトコル（TCP/IP)］をダブルクリックします。

5 必要事項を設定して、[OK]をクリックします。

各種アドレスなどの設定がわからないときは、以下を参照してください。

「準備ガイド」（紙マニュアル）－「ネットワークの基礎知識」

参考

- DHCP サーバや DHCP 機能付きのルータまたはアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）をお使いの環境で、パソコンに自動で IP アドレスを割り当てるときは［IP アドレスを自動的に取得する］を選択します。
- アドホックモードで通信するときは、通信する機器同士で、IP アドレスを自動で割り当てるか、固定の IP アドレスを使うかを決めて、必要な設定をしてください。
- 必要に応じてDNSサーバも設定してください(詳細はサービスプロバイダおよびネットワーク管理者に確認してください)。

6 パソコンを再起動します。

以上で終了です。

続いて、ネットワーク環境に応じて以下に進んでください。

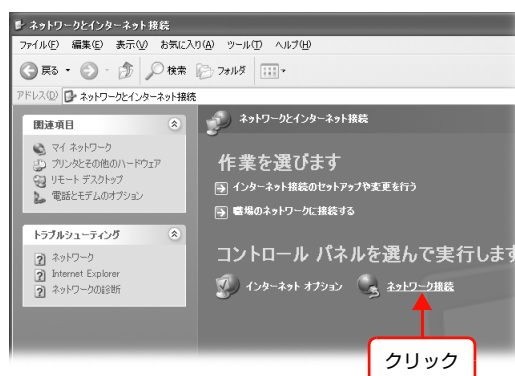
- パソコンをアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）経由で無線 LAN 接続するとき（Windows XP）は、パソコンの無線設定を確認します。
  本書 14 ページ「Windows の無線設定（Windows XP）」
- パソコンを有線 LAN 接続やアドホックモードなどで使用するときは、本製品のネットワーク項目を設定します。
  本書 22 ページ「本製品のネットワーク設定」

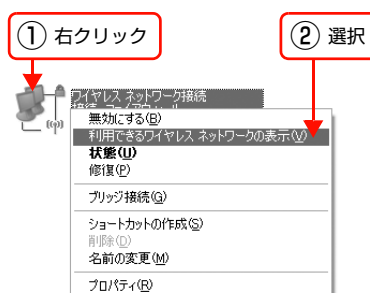
Windows の無線設定（Windows XP）

ここでは、Windows XP 標準のワイヤレスネットワークを使い、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）と通信できているか確認します。
Windows XP 以外の無線設定の詳細は、お使いの無線 LAN アダプタの取扱説明書を参照してください。

1 ［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックします。

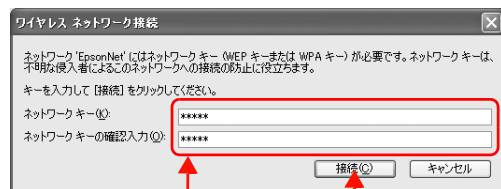
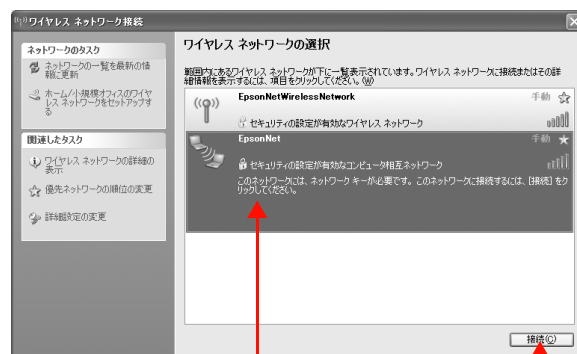
2 ［ネットワークとインターネット接続］アイコンをクリックします。

3 ［ネットワーク接続］アイコンをクリックします。

4 ［ワイヤレスネットワーク接続］アイコンを右クリックして、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］を選択します。

［ワイヤレスネットワーク接続］アイコン名は、ご使用のパソコンによって異なることがあります。

5 ［ワイヤレスネットワークの選択］リストから、通信モードに応じて SSID（ネットワーク名）をクリックして、［接続］をクリックします。

インフラストラクチャモードの場合：
アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）の SSID を選択
アドホックモードの場合：
本製品の SSID を選択（初期値は［EpsonNet］）

参考

- SSID（ネットワーク名）が表示されないときは、［ホーム / 小規模オフィスのワイヤレスネットワークをセットアップする］をクリックして無線ネットワーク接続をセットアップしてください。
- セキュリティ機能を設定している場合は、［接続］をクリックすると以下の画面が表示されます。設定しているパスワードを入力して［接続］をクリックしてください。

- 設定内容は以下のページを参照してください。
本書 9 ページ「設定内容のメモ」

6 ［ワイヤレスネットワーク接続］をダブルクリックします。

7 ［接続］の［シグナルの強さ］で無線通信ができていることを確認して、［閉じる］をクリックします。

参考

パソコンによっては、上記以外にも無線に関する設定が必要なことがあります。詳しくはパソコン、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）または無線 LAN アダプタの取扱説明書を参照してください。

以上で終了です。

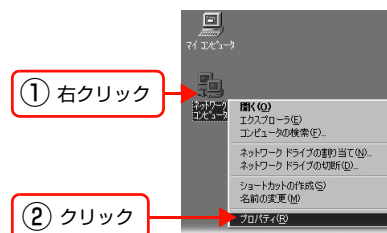
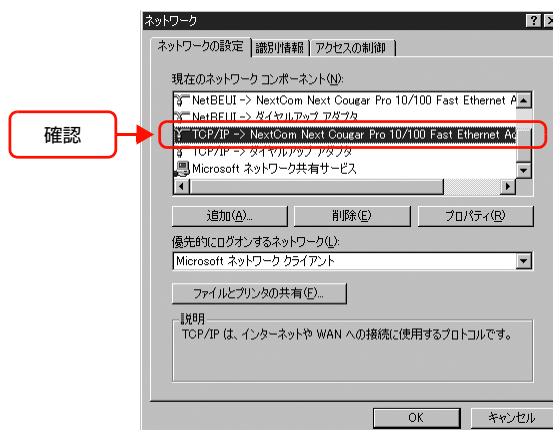
引き続き本製品のネットワーク項目を設定します。
本書 22 ページ「本製品のネットワーク設定」

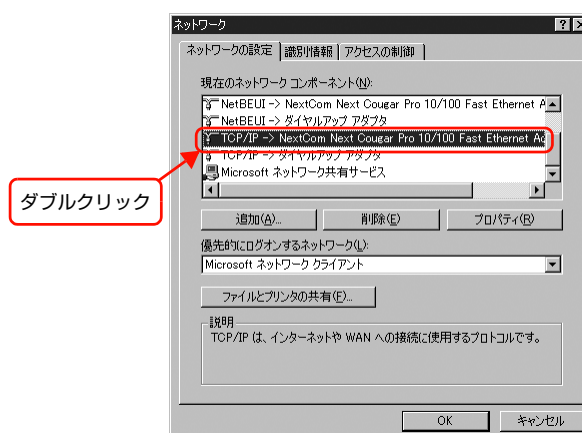
Windows 98/Me

TCP/IP プロトコルが組み込まれており、各種アドレスなどが設定されていることを確認します。
すでに TCP/IP プロトコルが利用可能な状態になっているときは、以下のページに進んでください。
本書 22 ページ「本製品のネットワーク設定」

TCP/IP プロトコルの確認

TCP/IP プロトコルがパソコンに組み込まれていることを確認します。

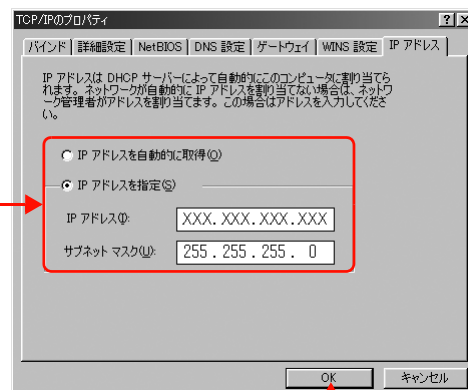
1 **［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。**
Windows Me：
［マイネットワーク］アイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリック

2 **TCP/IP　プロトコルが組み込まれているか確認します。**

- TCP/IP プロトコルがすでに組み込まれている場合は手順 3 に進み、各種アドレスなどの設定を確認します。
- TCP/IP プロトコルが組み込まれていなかった場合は、［追加］をクリックして、TCP/IP プロトコルをインストールしてください。インストールのときに、各 OS の CD-ROM を要求されることがあります。

3 **［TCP/IP］をダブルクリックします。**

4 **必要事項を設定して、[OK] をクリックします。**

各種アドレスなどがわからないときは、以下を参照してください。

「準備ガイド」（紙マニュアル）－「ネットワークの基礎知識」

参考

- DHCP サーバや DHCP 機能付きのルータまたはアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）をお使いの環境で、パソコンに自動で IP アドレスを割り当てるときは [IP アドレスを自動的に取得] を選択します。
- アドホックモードで通信するときは、通信する機器同士で、IP アドレスを自動で割り当てるか、固定の IP アドレスを使うかを決めて、必要な設定をしてください。

パソコンを再起動します。

以上で終了です。

続いて、ネットワーク環境に応じて以下を参照してください。

- パソコンをアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）経由で無線 LAN 接続する場合
  パソコンの無線設定を確認します。無線設定の詳細は、お使いの無線 LAN カードの取扱説明書を参照してください。無線設定を確認後は、以下のページに進みます。
  本書 22 ページ「本製品のネットワーク設定」
- パソコンを有線 LAN 接続やアドホックモードなどで使用する場合
  本製品のネットワーク項目を設定します。
  本書 22 ページ「本製品のネットワーク設定」

Mac OS X

TCP/IP プロトコルを設定するには管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。
☞ 本書 18 ページ「TCP/IP の設定」

Bonjour/Rendezvous を使用して印刷するときは、IP アドレスを DHCP または Zeroconf（APIPA）などで取得してください。設定方法は以下を参照してください。
☞ 本書 18 ページ「TCP/IP の設定」

すでに TCP/IP が利用可能なときは、以下のページに進みます。
☞ 本書 22 ページ「本製品のネットワーク設定」

ソフトウェアの詳細は、以下を参照してください。
☞ 本書 75 ページ「EPSON Web Config の使い方」

TCP/IP の設定

各種アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
各種アドレスがわからないときは、以下を参照してください。
☞「準備ガイド」（紙マニュアル）－「ネットワークの基礎知識」

1 **［アップル］メニュー -［システム環境設定］の順にクリックします。**

2 **［ネットワーク］アイコンをクリックします。**

3 **パソコンの接続環境に応じて［表示：］を選択します。**

有線接続：［内蔵 Ethernet］を選択
無線接続：［AirMac］を選択

4 **［ネットワーク環境：］が［自動］になっていることを確認して、［TCP/IP］タブをクリックします。**

Mac OS X v10.2.8-v10.3 の場合は、［場所：］が［自動］になっていることを確認して［TCP/IP］タブをクリックしてください。

5 **［TCP/IP］タブで必要事項を設定します。設定終了後、［今すぐ適用］をクリックします。**

各種アドレスなどがわからないときは、以下を参照してください。

☞「準備ガイド」（紙マニュアル）－「ネットワークの基礎知識」

参考

- DHCP サーバや DHCP 機能付きのルータまたはアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）をお使いの環境で、パソコンに自動で IP アドレスを割り当てるときは［IPv4 を設定：］または［IPv4 の設定：］で［DHCP サーバを参照］を選択します。
- アドホックモードで通信するときは、通信する機器同士で、IP アドレスを自動で割り当てるか、固定の IP アドレスを使うかを決めて、必要な設定をしてください。
- 必要に応じてDNSサーバも設定してください(詳細はサービスプロバイダおよびネットワーク管理者に確認してください)。

以上で TCP/IP の設定は終了です。

続いて、ネットワーク環境に応じて以下を参照してください。

- パソコンをアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）経由で無線 LAN 接続する場合
  パソコンの無線設定を確認します。
  ☞ 本書 20 ページ「AirMac の設定（Mac OS X）」
- パソコンを有線 LAN 接続やアドホックモードなどで使用する場合
  本製品を設定します。
  ☞ 本書 22 ページ「本製品のネットワーク設定」

AirMac の設定(Mac OS X)

ここでは、Mac OS X に装着されている AirMac が、アクセスポイント(ブロードバンドルータなど)と通信できているか確認します。

参考 管理者の権限でログオンしてください。

1 **[アップル]メニュー - [システム環境設定]の順にクリックします。**

2 **[ネットワーク]アイコンをクリックします。**

3 **[ネットワーク環境:]が[自動]になっていることを確認して、[表示:]で[AirMac]を選択します。**

Mac OS X v10.2.8-v10.3 の場合は、[場所:]が[自動]になっていることを確認して、[表示:]で[AirMac]を選択してください。

4 **［デフォルトの接続先：］リストから［優先するネットワーク］を選択して、通信モードに応じてリストから SSID（ネットワーク名）を選択します。**

Mac OS X v10.2.8-v10.3 の場合は、［デフォルトで、以下に参加する］リストから［特定のネットワーク］を選択して、通信モードに応じて［ネットワーク］リストから SSID（ネットワーク名）を選択します。

インフラストラクチャモードの場合：
アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）の SSID を選択
アドホックモードの場合：
本製品の SSID を選択（初期値は［EpsonNet］）

参考

- SSID（ネットワーク名）が表示されないときは、以下の手順を参照してください。
  Mac OS X v10.4 の場合
  ［+］をクリックして表示される画面で SSID（ネットワーク名）とパスワードを入力してください。
  Mac OS X v10.2.8-v10.3 の場合
  ［ネットワーク］および［パスワード］欄に SSID（ネットワーク名）とパスワードを入力してください。
- 設定内容は以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 9 ページ「設定内容のメモ」

5 **［今すぐ適用］をクリックして、ネットワーク画面を閉じます。**

6 **［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックします。**

［Macintosh HD］アイコンの名前を変更しているときは、Mac OS X を起動しているドライブアイコンをダブルクリックしてください。

7 **［アプリケーション］-［インターネット接続］の順にアイコンをダブルクリックします。**

［一覧］画面の［AirMac］アイコンをクリックして、信号レベルが表示されていることを確認してください。

以上で終了です。

引き続き本製品のネットワーク項目を設定します。
☞ 本書 22 ページ「本製品のネットワーク設定」

2 本製品のネットワーク設定

パソコンにプロトコルを設定したら、本製品のネットワークインターフェイスを設定します。
設定を始める前に、本製品が印刷可能な状態か確認してください。印刷準備が終了していないときは、「準備ガイド」（紙マニュアル）を参照してください。

設定方法の紹介

本製品のネットワークインターフェイスを設定するには、以下の方法があります。

- 本製品の操作パネルで設定する
- WCN（Windows Connect Now）機能で設定する
- 同梱のソフトウェアを使って設定する

各設定方法の詳細を確認して、設定方法を決定してください。

本製品の操作パネルで設定

本製品のディスプレイの表示を見ながらボタンを操作して、ネットワーク項目を設定します。
無線モードやセキュリティ詳細設定などは、操作パネルから設定できません。詳細項目の詳細は、同梱のソフトウェアで設定してください。

操作パネルでの設定方法の詳細は、「準備ガイド」を参照してください。
☞「準備ガイド」（紙マニュアル）－「ネットワーク基本設定」
☞「準備ガイド」（紙マニュアル）－「無線 LAN の設定」
その後、印刷するパソコンを設定してください。
☞ 本書 42 ページ「パソコンの印刷先設定」

WCN で設定

Windows XP（Service Pack2 以降）のワイヤレスネットワークセットアップウィザードを使って、USB フラッシュメモリにネットワーク設定情報を保存します。その後 USB フラッシュメモリを本製品に取り付けて、ネットワーク設定をします。
設定できる項目は、SSID（ネットワーク名）と暗号化（セキュリティ）方式だけです。

それ以外の項目は、本製品の操作パネルや、同梱のソフトウェアで設定してください。

設定方法の詳細は、以下のページに進みます。
☞ 本書 25 ページ「WCN で設定する」

設定ソフトウェアで設定

ソフトウェア CD-ROM には、以下の設定ソフトウェアが収録されています。

- EPSON Web Config
- EpsonNet Config
- 簡単セットアップ

各ソフトウェアの詳細を以下に説明します。

EPSON Web Config

パソコンやデジタル家電の Web ブラウザから起動します。本製品のネットワークインターフェイス設定のほかに、用紙種類、給紙方法の設定や、ノズルチェック、ヘッドクリーニングなどメンテナンスも実行できます。
使い方の詳細は、以下のページに進みます。
☞ 本書 75 ページ「EPSON Web Config の使い方」

EpsonNet Config

本製品の各種アドレスや名称などを設定するソフトウェアです。
パソコンにインストールしてから使用します。
インストール手順など詳細は、以下のページに進みます。
☞ 本書 29 ページ「EpsonNet Config で設定する」

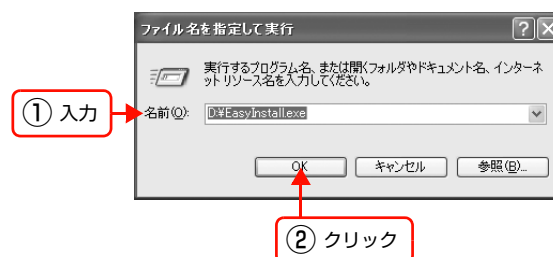
簡単セットアップ

ウィザード形式で、本製品の操作パネルによる操作なしで簡単にネットワークの設定ができるソフトウェアです（Windows 環境のみ）。ソフトウェアが起動した後は、画面の指示に従って設定を進めます。

DNS サーバの登録や SNMP などの設定はできないため、それらの設定が必要なときは、操作パネルまたは EpsonNet Config で設定してください。

起動方法は、同梱のソフトウェア CD-ROM から「EasyInstall.exe」のファイルを起動してください。

1. **［スタート］-［ファイル名を指定して実行］の順にクリックします。**

2. **［名前］欄に［CD-ROM ドライブ名：¥EasyInstall.exe］と入力して、［OK］をクリックします。**
画面は D ドライブの場合です。

WCN で設定する

WCN（Windows Connect Now）は、Windows XP の Service Pack2（SP2）で USB フラッシュメモリを持っているときに、無線 LAN のセキュリティを自動設定するための機能です。
ワイヤレスネットワークセットアップウィザードを使って、ネットワーク設定を USB フラッシュメモリに保存します。その後、本製品の操作パネルを使い USB フラッシュメモリに保存した内容を本製品に読み込みます。
ただし、無線 LAN のセキュリティ方式に WPA-PSK（AES）を使用しているときは、この設定方法では設定できません。
また、USB ハブ機能内蔵の USB フラッシュメモリは使用できません。

設定手順

設定を始める前に、パソコンとアクセスポイントが通信できている状態にしてください。

1. ［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックします。

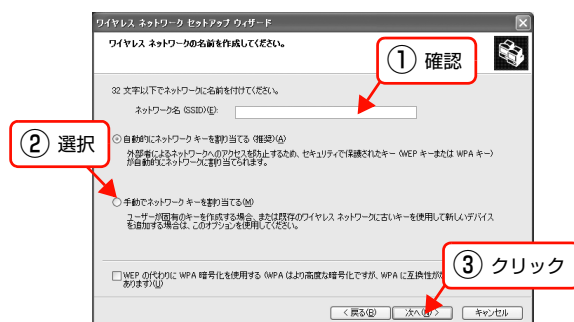
2. ［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

3. ［ワイヤレス ネットワーク セットアップ ウィザード］をクリックします。

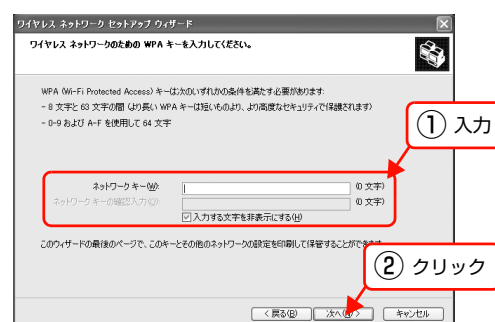
4. ［次へ］をクリックします。

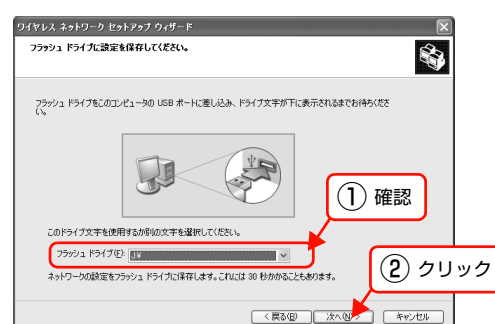
すでに［ワイヤレス ネットワーク セットアップ ウィザード］を使って設定をしたことがあるときは、この後に［タスクを選択してください。］画面が表示されます。
すでに設定済みの内容を本製品に設定するには、［新しいコンピュータやデバイスを 'XXXXXXXXXX' ネットワークに追加する］を選択して、手順 7 に進みます。新規に設定をするには、［新規のワイヤレスネットワークをセットアップする］を選択してください。

5 **［ネットワーク名（SSID）］に本製品を接続するアクセスポイントの SSID を入力し、［手動でネットワークキーを割り当てる］を選択して、［次へ］をクリックします。**

暗号化方式（セキュリティ）に、WPA － PSK（TKIP）を使用しているときは、［WEP の変わりに WPA 暗号化を使用する（WPA はより高度な暗号化ですが、WPA に互換性がないデバイスもあります）］にチェックを付けて、［次へ］をクリックします。

6 **［ネットワークキー］と［ネットワークキーの確認入力］にアクセスポイントに設定した値を入力して、［次へ］をクリックします。**

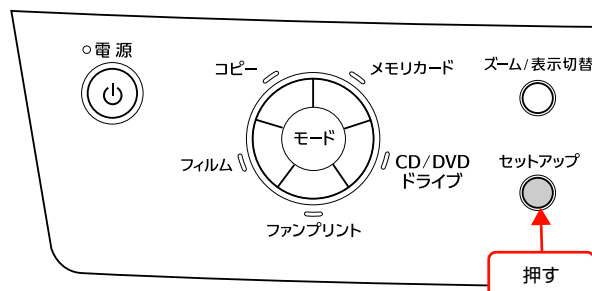
「設定内容のメモ」で確認した、［WEP キー / パスワード］を入力してください。

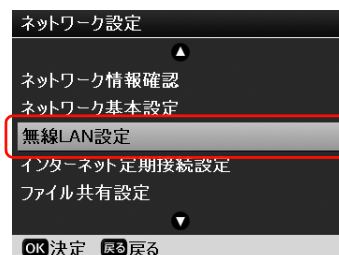
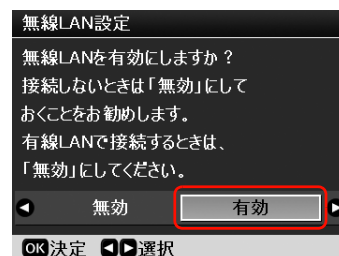
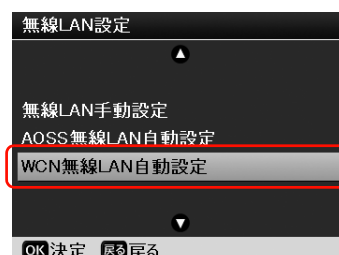
☞ 本書 9 ページ「設定内容のメモ」

7 **［USB フラッシュドライブを使用する］が選択されていることを確認して、［次へ］をクリックします。**

8 **画面の指示に従い USB フラッシュメモリをパソコンに接続し、ドライブ名が表示されたらドライブ名を確認して、［次へ］をクリックします。**

9 **右の画面が表示されたら、USB フラッシュメモリをパソコンから外します。**

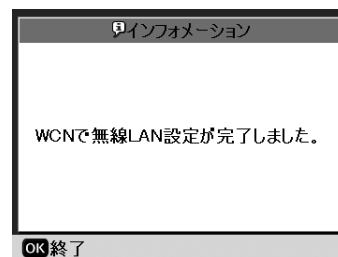
10 **本製品の【セットアップ】ボタンを押します。**

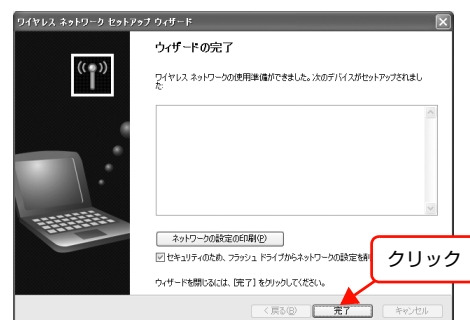
操作パネルの詳細は「準備ガイド」を確認してください。

☞「準備ガイド」（紙マニュアル）

11 **【◁】か【▷】ボタンを押し、［ネットワーク設定］を選択して【OK】ボタンを押します。**

12 **【△】か【▽】ボタンを押し、［無線 LAN 設定］を選択して【OK】ボタンを押します。**

13 **【◁】か【▷】ボタンを押し、［有効］を選択して【OK】ボタンを押します。**

14 **【△】か【▽】ボタンを押し、［WCN 無線 LAN 自動設定］を選択して【OK】ボタンを押します。**

15 **操作パネルの指示に従って、操作を続けます。**

USB フラッシュメモリを接続するメッセージが表示されたら、本製品に接続します。

16 操作パネルに「WCNで無線LAN設定が完了しました」のメッセージが表示され、「ネットワーク設定」画面に変わったら、本製品からUSBフラッシュメモリを外します。

17 USBフラッシュメモリを外したパソコンにもう一度接続して、[次へ] をクリックします。

18 ウィザードの完了画面が表示されたら、[完了] をクリックして画面を閉じます。

以上で終了です。

次に使用する環境に本製品を移動します。
☞ 本書40ページ「本製品の設置」
本製品を移動する必要がないときは、印刷をするパソコンを設定します。
☞ 本書42ページ「パソコンの印刷先設定」

EpsonNet Config で設定する

本製品のネットワークインターフェイスの設定には、必ず本製品に同梱の EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）をお使いください。
動作環境の確認後に、ソフトウェアをインストールしてください。

動作環境

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）は、以下の環境で動作します。

OS	• Windows 98 • Windows Me • Windows 2000 • Windows XP	• Mac OS X v10.2.8 以降
ハードディスク	15MB 以上の空き容量	
表示	解像度：800 × 600 ドット以上	

EpsonNet Config をインストールする

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）のインストール手順を説明します。
Windows 2000/XP または Mac OS X にインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

- Mac OS X 独自のファイルフォーマット「UNIX ファイルシステム」には対応していません。
- インストールしたソフトウェアの削除方法は、EpsonNet ソフトウェアの削除方法を参照してください。
  本書 92 ページ「添付ソフトウェアの削除方法」

1 **パソコンに本製品のソフトウェア CD-ROM をセットします。**
- Windows：手順 3 に進む
- Mac OS X：表示されたアイコンをダブルクリック

2 **Mac OS X のアイコンをダブルクリックします。**

3 **［カスタムインストール］をクリックします。**
Windows 環境でインストール画面が自動的に表示されないときは、［マイコンピュータ］内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。

4 **［EpsonNet Config］の左側のボタンをクリックします。**

5 **この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。**
Mac OS 環境では、インストール終了後に［再起動］をクリックします。

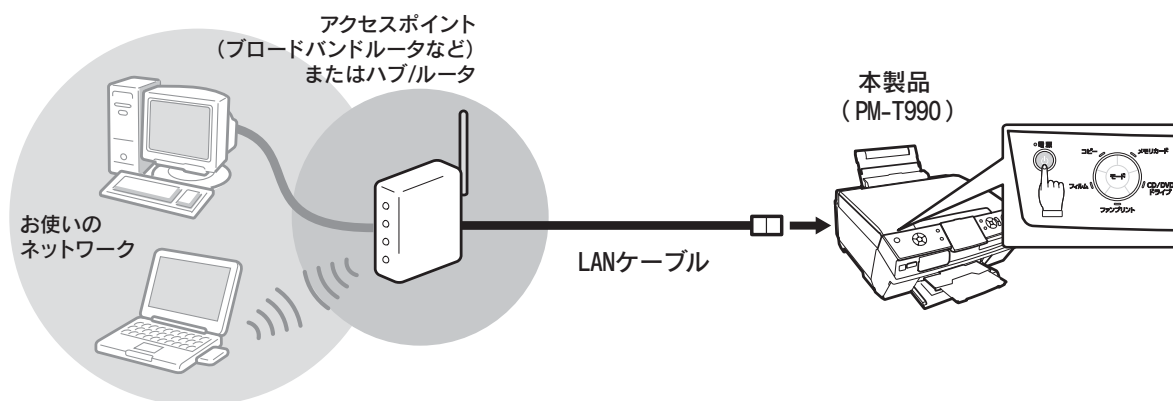
以上で終了です。

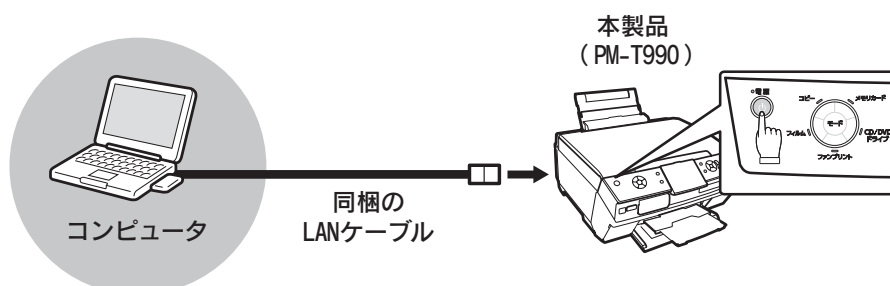
次に接続を確認します。
本書 30 ページ「設定のための接続確認」

設定のための接続確認

「EpsonNet Config」を使ってネットワーク設定をするために、本製品とパソコン、アクセスポイントなどを接続します。以下の接続方法を確認して設定を進めてください。

アクセスポイント(ブロードバンドルータなど)またはハブ / ルータ経由の場合

下図のようにアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）またはハブ / ルータに本製品を接続して、電源をオンにします。

パソコンと直接接続の場合

下図のようにパソコンに本製品を接続して、電源をオンにします。

！注意　設定をするパソコンには LAN ポート（RJ-45 コネクタ）が必要です。

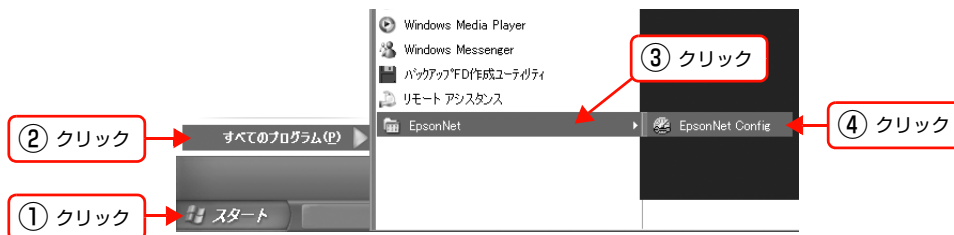
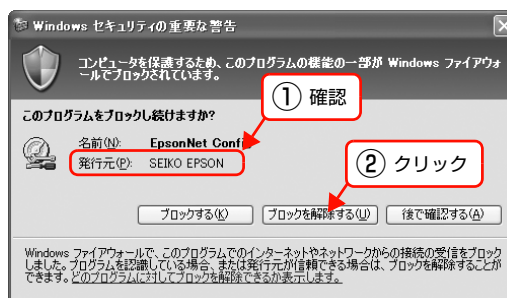
 直接接続には同梱の LAN ケーブルをお使いください。

接続を確認したら、次に設定ソフトウェアを起動します。
☞ 本書 31 ページ「EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の起動」

EpsonNet Config(Windows)/(Mac OS)の起動

ソフトウェアを起動する前に、本製品でネットワーク設定以外の準備が終了していることを確認してください。準備の詳細は、「準備ガイド」－「本体の準備」を参照してください。
☞「準備ガイド」（紙マニュアル）

Windows の場合

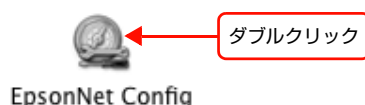
1 **［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EpsonNet］－［EpsonNet Config］の順にクリックして起動します。**

参考 以下の画面が表示されたら、発行元が「SEIKO EPSON」であることを確認して、［ブロックを解除する］をクリックしてください。［ブロックする］をクリックしたときは、EpsonNet Config（Windows）を Windows ファイアウォールに登録してください。
また市販のファイアウォールソフトウェアをインストールしていると、ファイアウォールソフトウェア関連の画面が表示されることがあります。ソフトウェアの取扱説明書を参照して、一時的に通信を許可してください。
☞ 本書 81 ページ「困ったときは」

Mac OS の場合

1 **［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックした後、［アプリケーション］フォルダをダブルクリックします。**

［Macintosh HD］の名前を変更しているときは、Mac OS X を起動中のハードディスクアイコンをダブルクリックしてください。

2 **［EpsonNet］フォルダをダブルクリックします。**

3 **［EpsonNet Config］フォルダをダブルクリックします。**

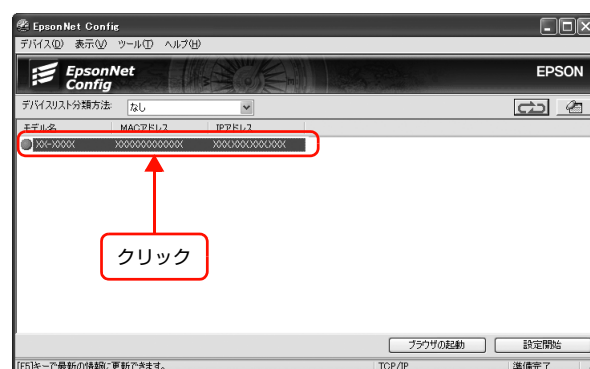
4 **［EpsonNet Config］アイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動します。**

以上で終了です。

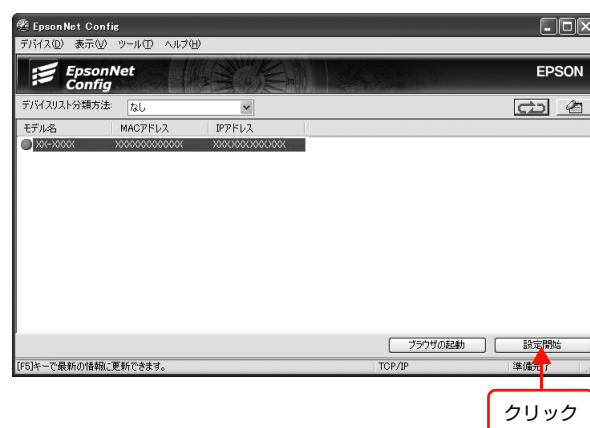
次に設定手順を説明します。
☞ 本書 32 ページ「設定方法」

設定方法

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）を使って、本製品を設定します。EpsonNet Config（Windows）の画面を例に説明します。EpsonNet Config（Mac OS）での手順も同様です。

- 各設定画面とメニューバーの詳細説明は、各 EpsonNet Config のヘルプを参照してください。
- 本製品を工場出荷時の状態に戻すときは、以下を参照してください。
  ☞ 本書 39 ページ「工場出荷時への戻し方」

1 **画面のリストで、本製品を選択します。**

- 本製品の IP アドレスが工場出荷時（192.168.192.168）のままになっていると、製品名が表示されないことがあります。このようなときは、MAC アドレスで判別してください。また、本製品が複数台あるときも MAC アドレスで判断します。MAC アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
  ネットワークステータスシートの出力方法は、「準備ガイド」（紙マニュアル）を参照してください。
- IP アドレスが工場出荷時以外に設定されているときに、[ブラウザの起動] をクリックすると、EPSON Web Config が起動します。
  ☞ 本書 74 ページ「EPSON Web Config の使い方」
- 複数台選択して、まとめて設定することもできます。詳細はヘルプを参照してください。

2 **［設定開始］をクリックします。**

3 **［ネットワーク I/F のプロパティ］画面が開いたら、画面左側の項目の中から、設定する項目をクリックします。**

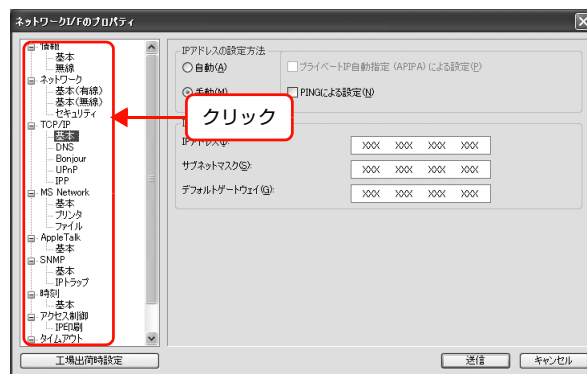
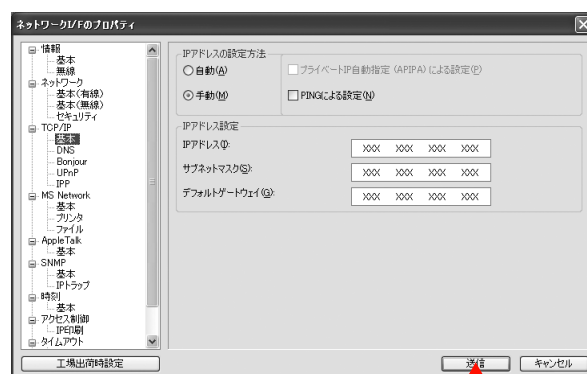
お使いの環境に合わせて本製品を設定します。

☞ 本書 36 ページ「無線に関する設定」

☞ 本書 38 ページ「TCP/IP に関する設定」

それ以外の項目の詳細は、ヘルプで確認してください。

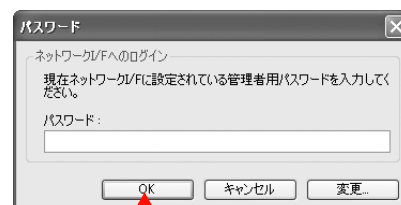
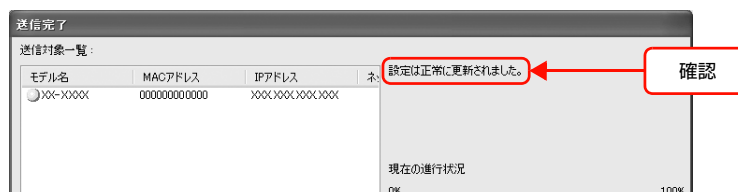
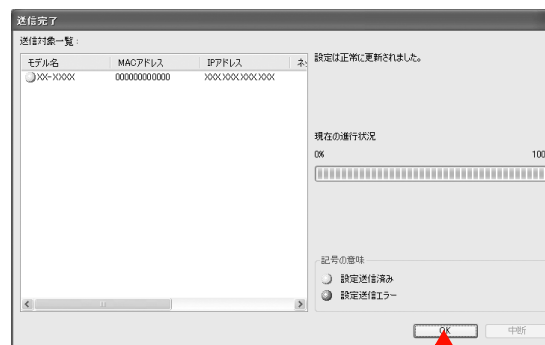
参考

- 本製品を無線接続するには、無線に関する設定をしてください。
  ☞ 本書 36 ページ「無線に関する設定」
- ［工場出荷時設定］をクリックすると、本製品の設定がすべて工場出荷時の初期値に設定されます。

4 **各項目の設定が終了したら、［送信］をクリックします。**

5 **表示された画面で［OK］をクリックします。**

6 **初めて設定するときは、パスワードが設定されていないので［OK］をクリックします。**

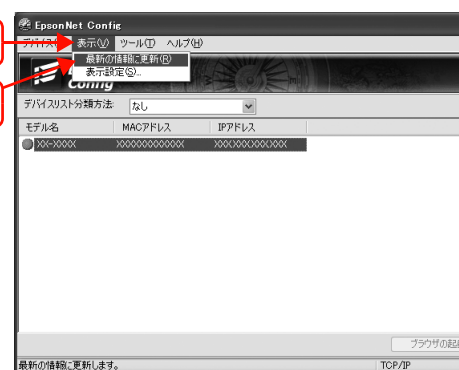
パスワードをすでに設定している場合は、［パスワード］欄にパスワードを入力して［OK］をクリックしてください。

パスワードを設定する場合は、以下のページに進みます。

☞ 本書 35 ページ「パスワード」

！注意 「設定は正常に更新されました。」と表示されるまでは本製品に情報を送っていますので、本製品の電源をオフにしたり、印刷データを送信したりしないでください。

7 ［OK］をクリックします。

8 **設定が有効になるまで最大３分かかりますので、その間は本製品の電源をオフにしないでください。３分ほどしたら、［表示］－［最新の情報に更新］をクリックして、設定値を確認してください。**

！注 意

パソコンと直接接続での設定で、本製品の有線通信方法を固定に設定すると、本製品がリストに表示されないことがあります。リストに表示されないときは工場出荷時に戻して、設定をやり直してください。

☞「準備ガイド」（紙マニュアル）

以上で終了です。

次に使用する環境に本製品を移動します。

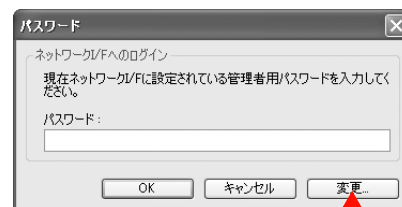
☞ 本書 40 ページ「本製品の設置」

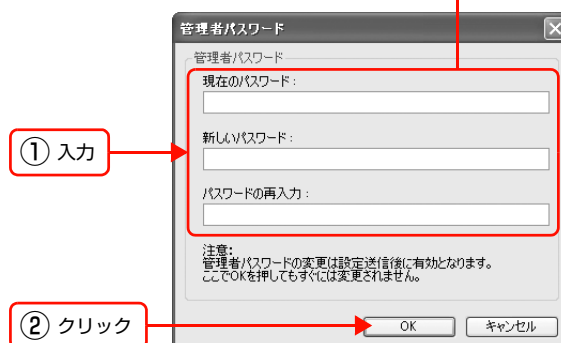
本製品を移動する必要がないときは、印刷をするパソコンを設定します。

☞ 本書 42 ページ「パソコンの印刷先設定」

パスワード

パスワードは、本製品のネットワークインターフェイスの設定を保護するためのものです。[ネットワーク I/F のプロパティ]画面で［送信］をクリックしたり、[工場出荷時設定] をクリックすると［パスワード］画面が表示されます。

1　パスワードを初めて設定したり、変更するときは、［変更］をクリックします。

2　各パスワードを半角英数 20 文字以内で入力して、［OK］をクリックします。

大文字・小文字は区別されます。

3　手順 1 の画面に戻り、何も変更せずに［OK］をクリックします。

新しいパスワードは、[OK］をクリックして、設定送信した後に有効になります。

パスワードを忘れたら、操作パネルで［ネットワーク設定を初期設定に戻す］を実行してください。
☞「準備ガイド」（紙マニュアル）

以上でパスワードの設定は終了です。

プロパティ画面の説明

ここでは［ネットワーク I/F のプロパティ］画面の無線に関する設定画面（［ネットワーク］-［基本（無線)］、［セキュリティ］）と、［TCP/IP］-［基本］画面を説明します。それ以外の項目の詳細は、各 EpsonNet Config のヘルプを参照してください。

☞ 本書 36 ページ「［ネットワーク］-［基本（無線)］」
☞ 本書 37 ページ「［ネットワーク］-［セキュリティ］」
☞ 本書 38 ページ「［TCP/IP］-［基本］画面」

無線に関する設定

本製品を無線接続する場合は、無線に関する項目を設定します。

[ネットワーク]-[基本(無線)]

設定項目を変更したときは、設定方法の手順 4 に戻り、変更内容を本製品に送信してください。

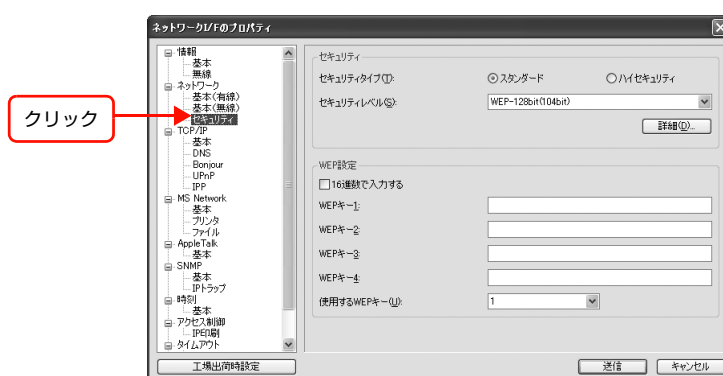
☞ 本書 32 ページ「設定方法」

設定項目	選択項目	設定内容
無線 LAN の機能を有効にする	−	無線 LAN 機能を有効にするときは、チェックを付けてください。有線 LAN 機能を使うときは、チェックを外してください。
通信モード	インフラストラクチャ	アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）経由で通信するときに選択します。
	アドホック	パソコンと本製品が、無線で直接通信するときに選択します。
無線モード	IEEE802.11b	接続する無線 LAN 環境が IEEE802.11b のときに選択します。通常は［IEEE802.11b/g］を選択します。
	IEEE802.11b/g	接続する無線 LAN 環境に IEEE802.11b と IEEE802.11g の機器が混在していても無線モードを自動で切り替えます。通常はこの設定を選択します。また、操作パネルや EPSON Web Config で設定すると、自動的に［IEEE802.11b/g］が設定されます。
	IEEE802.11g	接続する無線 LAN 環境が IEEE802.11g のときに選択します。通常は［IEEE802.11b/g］を選択します。
SSID	−	• ［通信モード］で［インフラストラクチャ］を選択したとき ［SSID］リストから、接続する SSID を選択します。本製品の通信可能な範囲にあるアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）の SSID が［SSID］リストに表示されます。接続したいアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）のセキュリティ設定によって、SSID が表示されないときは、接続するアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）の SSID を直接入力してください。 • ［通信モード］で［アドホック］を選択したとき ［SSID］リストから接続する SSID を選択、または SSID を入力して、［チャンネル］リストから使用するチャンネルを選択します。

設定項目	選択項目	設定内容
チャンネル	1 ～ 13（14）	［通信モード］で［アドホック］を選択したときに設定します。1 ～ 13（14）チャンネルの中から選択できます（ただし、［無線モード］で［IEEE802.11b］を選択したときは 1 ～ 14 チャンネルから選択できます。また、［SSID］リストから接続する SSID を選択したときはチャンネルは自動で指定されます）。設定の際、近接したエリアに同じ規格の無線があるときは、5 チャンネルを目安に間隔を空けて、電波干渉を避けて設定します。ただし、12 ～ 14 チャンネルはお使いの環境によって接続できないことがあります。
通信速度	自動	通信速度は 1 ～ 54Mbps モードの間で、自動的に切り替わります。IEEE802.11b の場合は最大で 11Mbps モードとなります。

[ネットワーク]-[セキュリティ]

設定項目を変更したときは、設定方法の手順 4 に戻り、変更内容を本製品に送信してください。

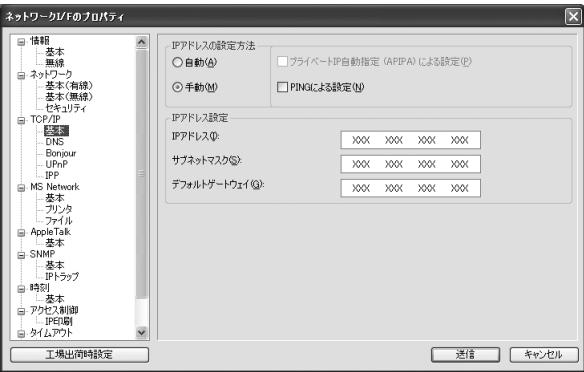
☞ 本書 32 ページ「設定方法」

設定項目	選択項目	設定内容
セキュリティレベル	なし	暗号化によるセキュリティを使用しないときに選択します。
	WEP-64bit（40bit）	16 進数または ASCII 文字で WEP キーを使用したセキュリティです。［詳細］をクリックして［アクセスポイント認証方式］も設定します。
	WEP-128bit（104bit）	
	WPA-PSK（TKIP）	パスワード入力を使用したセキュリティです。
	WPA-PSK（AES）	
詳細 - アクセスポイント認証方式	オープンシステム認証	WEP キーの使用にかかわらず認証します。
	共有キー認証	無線通信デバイス間で同じ WEP キーを持っているかいないかによって認証します。
	自動	接続する無線デバイスに応じて［オープンシステム］と［共有キー］を切り替えます。通常は［自動］を選択します。
WEP 設定	16 進数で入力する	WEP キーを 16 進数で入力するときにチェックします。チェックせずに入力したときは ASCII 文字として認識されます。
	WEP キー 1 ～ 4：	WEP キーを入力します。 • WEP-64bit（40bit）の場合 英数と“-”とを組み合わせた 5 文字で入力します。［16 進数で入力する］をチェックしたときは 10 文字で入力します。 • WEP-128bit（104bit）の場合 英数と“-”とを組み合わせた 13 文字で入力します。［16 進数で入力する］をチェックしたときは 26 文字で入力します。
	使用する WEP キー	ドロップダウンリストで 1 ～ 4 を選択します。
WPA 設定	－	PSK（事前共有キー）を 8 ～ 63 文字以内の半角英数記号（大文字と小文字は別の文字として区別されます）で入力します。

TCP/IP に関する設定

IP アドレスに関する項目を設定します。

[TCP/IP]-[基本]画面

設定項目を変更したときは、設定方法の手順 4 に戻り、変更内容を本製品に送信してください。

本書 32 ページ「設定方法」

IP アドレスの設定方法

設定項目	設定内容
自動	DHCP または BOOTP サーバから IP アドレスを自動取得するときに選択します。 本製品の電源をオンにするたびにネットワークインターフェイスに割り振られる IP アドレスが変更されます。DHCP または BOOTP サーバのない環境では使用できません。設定の詳細は各サーバの取扱説明書を参照してください。
手動	［IP アドレス設定］項目で IP アドレスを設定するときに選択します。
プライベート IP 自動指定（APIPA）による設定	チェックを付けると、DHCP サーバが存在しないときや応答がないときに、IP アドレスが APIPA（Automatic Private IP Addressing）によって自動設定されます。 169.254.0.1 ～ 169.254.255.254 の範囲で設定されます。 IP アドレスの設定方法が手動の場合、この項目は設定できません。
PING による設定	IP アドレスを ARP/PING コマンドから設定するときにチェックを付けてください。

IP アドレス設定

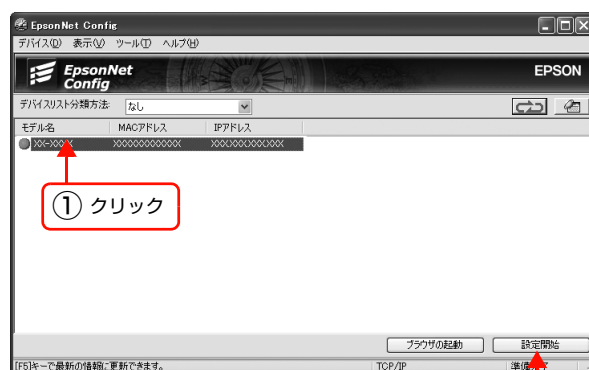
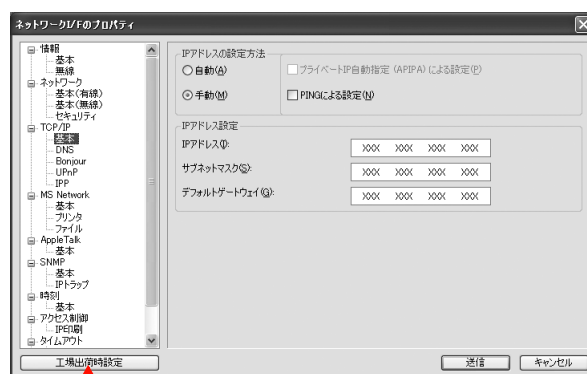
設定項目	設定内容
IP アドレス	本製品で使用する IP アドレスを入力します。IP アドレスが分からないときは以下のページを参照してください。 本書 81 ページ「困ったときは」 ほかのネットワーク機器や、パソコンですでに使用している IP アドレスと重複しないようにしてください。 工場出荷時は［192.168.192.168］ですが、このままでは使用できません。この IP アドレスを使用するときは、一旦消してから同じ IP アドレスを再入力すると使用可能となります。本製品の IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 工場出荷時は［255.255.0.0］です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。

工場出荷時への戻し方

本製品のネットワークインターフェイスに誤った設定をしたときは、以下の手順で工場出荷時の状態に戻してください。

1 **EpsonNet Config を起動します。**

☞ 本書 31 ページ「EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の起動」

2 **画面のリストで、本製品を選択して、［設定開始］をクリックします。**

3 **［工場出荷時設定］をクリックします。**

以上で終了です。

本製品の設置

本製品のネットワークインターフェイスを設定するために、本来設置する場所から移動していたときは、電源をオフにしてから設置場所に移動します。その後以下を参照して接続し直します。移動する必要がないときは、次にパソコンの印刷先を設定します。
☞ 本書 42 ページ「パソコンの印刷先設定」

「設定のための接続確認」で選択した接続方法に応じて、接続し直してください。
☞ 本書 30 ページ「設定のための接続確認」

アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）またはハブ / ルータ経由の場合

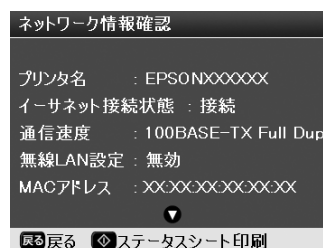
1 本製品を設置する場所に移動させます。

- 無線 LAN 環境に設置する場合：
  アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）またはハブ / ルータと本製品をつないでいた LAN ケーブルを取り外してから移動
- 有線 LAN 環境に設置する場合：
  使用するネットワーク環境のハブ / ルータに LAN ケーブルを接続し直し、本製品を移動する必要があれば移動

2 本製品を使用する場所に移動したら、電源をオンにします。

参考 無線 LAN 環境に設置する場合で、ハブ / ルータ経由で本製品を設定したときは、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）の電源がオンになっていることを確認してください。

3 本製品の操作パネルの［ネットワーク情報確認］を確認します。

［接続状態］または［イーサネット接続状態］が以下の通りになっていることを確認してください。
操作パネルの使い方は、「準備ガイド」を参照してください。
☞「準備ガイド」（紙マニュアル）

無線 LAN 接続時

有線 LAN 接続時

- パソコンと通信ができているかは、PING コマンドで確認できます。
  ☞ 本書 94 ページ「PING コマンドによる通信確認方法」
- 無線通信の状態にならないときは、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）またはパソコンの無線 LAN アダプタの設定と本製品の無線設定が合っているかを確認してください。
  ☞ 本書 9 ページ「設定内容のメモ」
  ☞ 本書 36 ページ「無線に関する設定」

以上で終了です。

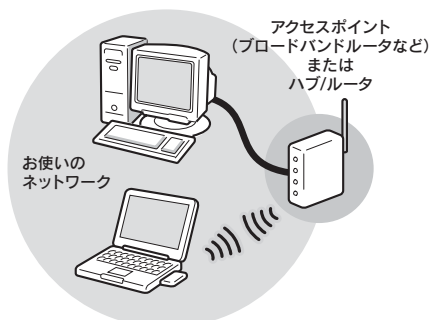
次にパソコンの印刷先を設定します。
☞ 本書 42 ページ「パソコンの印刷先設定」

パソコンと直接接続の場合

1 **パソコンと本製品をつなぐ LAN ケーブルを取り外します。**

2 **本製品を使用する場所に移動します。**

- 無線 LAN 環境に設置する場合：
  移動したら電源をオン
- 有線 LAN 環境に設置する場合：
  本製品と使用するネットワーク環境のハブ / ルータを LAN ケーブルで接続して、電源をオン

3 **パソコンをお使いのネットワーク環境に接続します。**

参考　無線 LAN 環境に接続するときは、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）の電源がオンになっていることを確認してください。

4 **本製品の操作パネルの［ネットワーク情報確認］を確認します。**

［接続状態］または［イーサネット接続状態］が以下の通りになっていることを確認してください。
操作パネルの使い方は、「準備ガイド」を参照してください。
☞「準備ガイド」（紙マニュアル）

無線 LAN 接続時

有線 LAN 接続時

- パソコンと通信ができているかは、PING コマンドで確認できます。
  ☞ 本書 94 ページ「PING コマンドによる通信確認方法」
- 無線通信の状態にならないときは、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）またはパソコンの無線 LAN アダプタの設定と本製品の無線設定が合っているかを確認してください。
  ☞ 本書 9 ページ「設定内容のメモ」
  ☞ 本書 36 ページ「無線に関する設定」

以上で終了です。

次にパソコンの印刷先を設定します。
☞ 本書 42 ページ「パソコンの印刷先設定」

3 パソコンの印刷先設定

ネットワークに接続した本製品に印刷するには、プリンタドライバのインストールとプリンタポートの設定が必要です。
ここではインストールと設定の手順を OS と印刷方法ごとに説明します。

Windows（EpsonNet Print使用）

Windows 2000/XP では本ソフトウェアを使用しなくても、OS に標準搭載されている印刷方法が使用できます。ただし OS に標準搭載されている印刷方法では、IP アドレスの自動追従はできません。
☞ 本書 58 ページ「Windows（標準 TCP/IP）」

EpsonNet Print の使い方

EpsonNet Printは、ネットワークに接続した本製品にWindowsからTCP/IP直接印刷をするためのソフトウェアです。

動作環境

EpsonNet Print は以下の環境で動作します。

OS	• Windows 98/Me • Windows 2000（Service Pack4 以降） • Windows XP（Service Pack1 以降）
表示	解像度：800 × 600 ドット以上
メモリ	64MB 以上
ハードディスク	20MB 以上の空き容量

セットアップの流れ

本ソフトウェアを使用するための手順を説明します。

1　EpsonNet Print のインストール　☞ 本書 44 ページ「EpsonNet Print のインストール」

本ソフトウェアを使用するパソコンにインストールします。

2　パソコンの設定

Windows 2000/XP の場合

☞ 本書45ページ「Windows 2000/XPでセットアップする」

本ソフトウェアのプリンタポート「EpsonNet Print Port」を作成してから、プリンタドライバをインストールします。

①プリンタポートの作成
②プリンタドライバのインストール

Windows 98/Me の場合

☞ 本書50ページ「Windows 98/Meでセットアップする」

プリンタドライバを任意のポートを選択してインストールします。その後本製品のプロパティを開いて、プリンタポートを本ソフトウェアで作成されたポート「EpsonNet Print Port」に変更します。

①プリンタドライバのインストール
②プリンタポートの作成と設定変更

セットアップ中の製品探索方法の変更や、印刷データの送信方法を変更するときは、以下を参照してください。
☞ 本書 54 ページ「その他の機能」

EpsonNet Print のインストール

EpsonNet Print をインストールすると新しいプリンタポート（EpsonNet Print Port）が作成され、このポートを使うことで Windows 98 など標準で LPR ポートを持たない Windows でもネットワーク直接印刷ができるようになります。
Windows 2000/XP にインストールするには、管理者の権限を持つユーザでログオンしてください。
Windows 98/Me の場合は、本製品を使用するすべてのパソコン（Windows 98/Me）に EpsonNet Print をインストールしてください。

インストールしたソフトウェアの削除は、添付ソフトウェアの削除方法を参照してください。
☞ 本書 92 ページ「添付ソフトウェアの削除方法」

！注意 本ソフトウェアは、旧印刷用ソフトウェアの EpsonNet Direct Print Version1.0 または Version2.X と同じパソコンにインストールできません。
EpsonNet Direct Print Version1.0 をお使いの場合は、EpsonNet Direct Print を削除してから本ソフトウェアをインストールしてください。EpsonNet Direct Print Version2.X をお使いの場合は、本ソフトウェアのインストール中に警告メッセージを表示しますので、画面の指示に従って EpsonNet Direct Print Version2.X を削除してください。

1 **パソコンに本製品のソフトウェア CD-ROM をセットします。**

2 **［カスタムインストール］をクリックします。**

3 **［EpsonNet Print］の左側のボタンをクリックします。**

4 **この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。**

以上で終了です。

次に各 OS ごとにパソコンを設定します。
☞ 本書 45 ページ「Windows 2000/XP でセットアップする」
☞ 本書 50 ページ「Windows 98/Me でセットアップする」

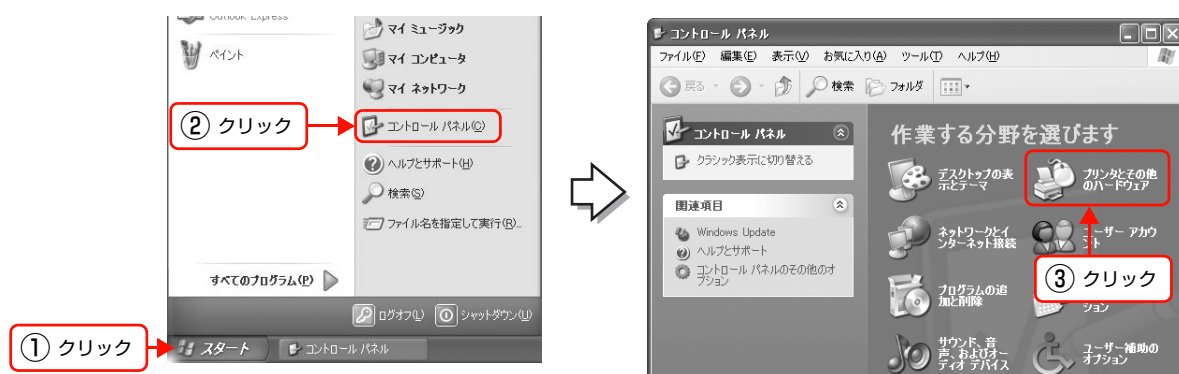
Windows 2000/XP でセットアップする

セットアップを始める前に、パソコンに IP アドレスが設定されていることを確認してください。
☞ 本書 11 ページ「パソコンのネットワーク設定確認」

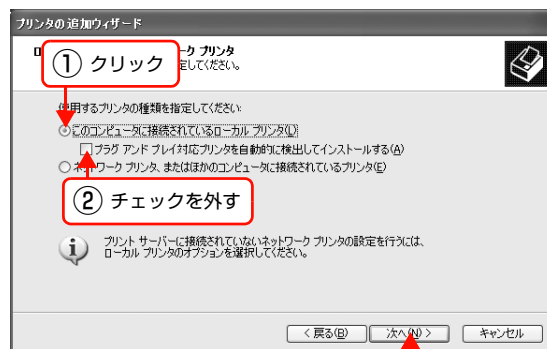
また、本製品に工場出荷時（192.168.192.168）以外の IP アドレスが設定されていることも確認してください。本製品の IP アドレスはネットワークステータスシートを印刷すると確認できます。ネットワークステータスシートの出力方法は、「準備ガイド」を参照してください。

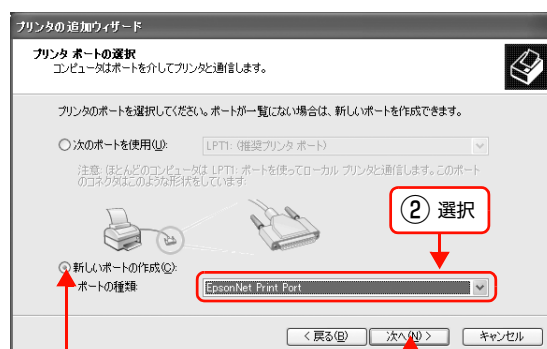
プリンタポートの作成

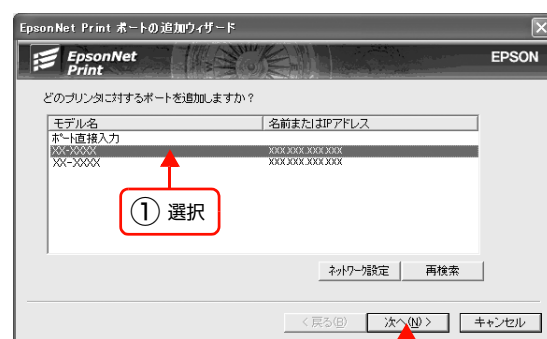
プリンタポート（EpsonNet Print Port）を作成した後、プリンタドライバをインストールします。Windows XP の画面で説明します。

1 **［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**
Windows 2000：［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリック

2 **［プリンタを追加する］をクリックして、表示される画面で［次へ］をクリックします。**
Windows 2000：［プリンタの追加］をダブルクリックして、［次へ］をクリック

3 **[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択し、[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外して、[次へ] をクリックします。**

Windows 2000：
[ローカルプリンタ] を選択し、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外して、[次へ] をクリック

4 **[新しいポートの作成] を選択します。[EpsonNet Print Port] を選択して、[次へ] をクリックします。**

お使いの Windows によっては [Windows セキュリティの重要な警告] 画面が表示されます。[ブロックを解除する] をクリックしてください。

5 **本製品を選択して、[次へ] をクリックします。**

本製品が表示されないときは、電源がオンになっているか確認して [再検索] をクリックするか、[ポート直接入力] をクリックして IP アドレスを指定してください。

- [ポート直接入力] の詳細は、以下を参照してください。
  ☞ 本書 55 ページ「アドレスを直接指定する」
- 別セグメントの本製品を指定するときは、[ネットワーク設定] をクリックして設定します。
  ☞ 本書 54 ページ「探索方法を変更する」
- [ネットワーク設定] をクリックして設定を変更したときやポートの追加中に本製品の電源をオンにしたときは、[再検索] をクリックしてください。
- 手順 4 で表示された [Windows セキュリティの重要な警告] 画面で [ブロックする] を選択したときは、パソコンと同じセグメントにあるネットワークアドレスの本製品のみを表示します。異なるネットワークアドレスの本製品を表示するときは、[コントロールパネル] の [Windows ファイアウォール] で設定を変更してください。

6 **画面の内容を確認して、[完了] をクリックします。**

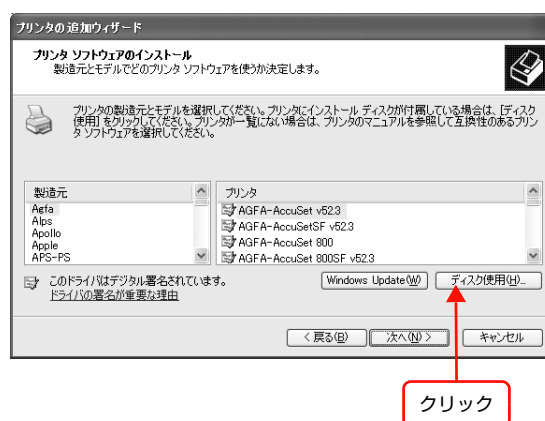
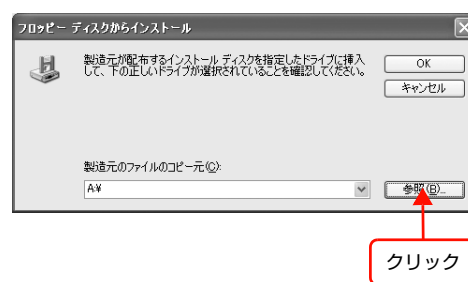
［ポートタイプ選択］でポートタイプを選択できます。通常は変更する必要はありません。
各項目の説明は、下表を参照してください。

<table>
<tr><th colspan="2">項目名</th><th>内容</th></tr>
<tr><td colspan="2">［ポートタイプ選択］</td><td>作成するポートのタイプを選択できます。本製品の設定に応じて、以下の項目が選択できます。</td></tr>
<tr><td></td><td>IP アドレス（自動）</td><td>使用するパソコンと本製品が同一セグメント内にあり、本製品のネットワークインターフェイスの［IP アドレスの設定方法］が［自動］になっているときに選択できます。
本製品の IP アドレスが変更されても、ポートと IP アドレスが自動的に関連付けられるため、IP アドレスが変わるたびに使用するパソコンのポート名を変更する必要がありません。</td></tr>
<tr><td></td><td>IP アドレス（固定）</td><td>本製品のネットワークインターフェイスが固定アドレスのときに選択します。DHCP サーバなどによって各アドレスを自動で取得しているときは、選択しないでください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ポート名</td><td>［ポートタイプ選択］リストで選択した項目によって以下のように表示します。
［IP アドレス（自動）］　：EP+MAC アドレス下 6 桁：本製品名
［IP アドレス（固定）］　：IP アドレス：本製品名</td></tr>
<tr><td colspan="2">モデル名</td><td>本製品名を表示します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">名前または IP アドレス</td><td>［ポートタイプ選択］リストで選択した項目によって以下のように表示します。
［IP アドレス（自動）］　：IP アドレス
［IP アドレス（固定）］　：IP アドレス</td></tr>
<tr><td colspan="2">プロトコル</td><td>使用プロトコル（拡張 LPR）を表示します。</td></tr>
</table>

プリンタドライバのインストール

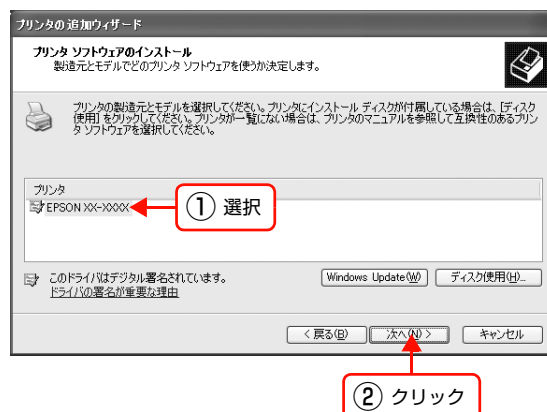
1 本製品のソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットします。

2 画面が表示されたら、画面右上の［×］をクリックして画面を閉じてください。

3 ［プリンタの追加ウィザード］または［プリンタウィザード］画面で［ディスク使用］をクリックします。

4 ［フロッピーディスクからインストール］画面が表示されたら、［参照］をクリックします。

5 フォルダを選択して、［開く］をクリックします。

OS	フォルダ名
Windows 2000/XP	WINXP_2K
Windows XP Professional x64	WINXP64

6 ［フロッピーディスクからインストール］画面に戻りますので、［OK］をクリックします。

7 プリンタの一覧から本製品を選択して、［次へ］をクリックします。

8 この後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

次にネットワーク用モジュールをインストールします。

ネットワーク用モジュールのインストール

プリンタドライバのユーティリティ機能をネットワーク経由でも使えるように、ネットワークモジュールをパソコンにインストールします。以下の手順に従い、モジュールをインストールしてください。

1 パソコンに、本製品のソフトウェア CD-ROM をセットします。

2 ［カスタムインストール］をクリックします。

3 ［EPSON プリンタウィンドウ !3（ネットワークモジュール）］の左側のボタンをクリックします。
上記手順を実行しないと、プリンタドライバのユーティリティ機能の一部（パソコンからのインク残量確認など）が正常に動作しないことがあります。

以上で終了です。

印刷方法を設定するときは、以下のページに進んでください。
本書 56 ページ「印刷方式を変更する」

次にネットワークスキャナの設定をします。
本書 63 ページ「ネットワークスキャナの設定」

Windows 98/Me でセットアップする

セットアップを始める前に、パソコンに IP アドレスが設定されていることを確認してください。
☞ 本書 11 ページ「パソコンのネットワーク設定確認」

また、本製品に工場出荷時（192.168.192.168）以外の IP アドレスが設定されていることも確認してください。本製品の IP アドレスはネットワークステータスシートを印刷すると確認できます。ネットワークステータスシートの出力方法は、「準備ガイド」を参照してください。

プリンタドライバをインストールした後、EpsonNet Print Port を作成します。Windows 98 の画面で説明します。

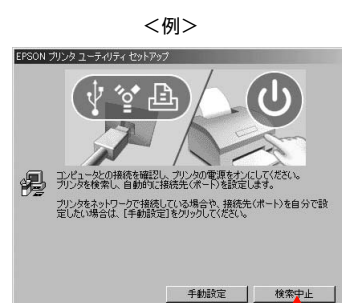
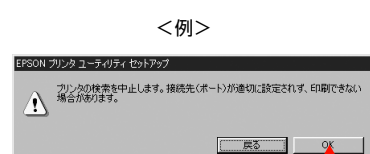
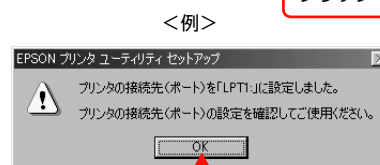
プリンタドライバのインストール

1 **パソコンに本製品のソフトウェア CD-ROM をセットします。**

2 **［カスタムインストール］をクリックします。**

3 **［プリンタドライバ］の左側のボタンをクリックします。**

4 **お使いの機種を選択します。**

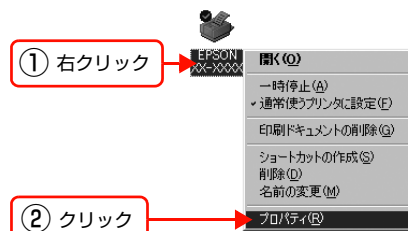
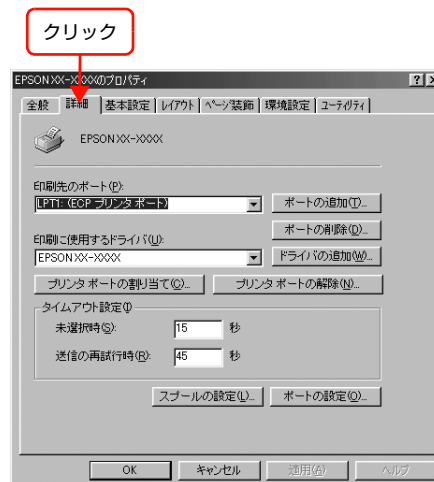
5 **右のような画面が表示されたときは、［検索中止］または［キャンセル］をクリックしてください。**
EpsonNet Print を使用するときは、プリンタポートの設定を手動で行うため、設定は不要です。

［検索中止］または［キャンセル］をクリックすると、右のような画面が表示されることがあります。［OK］をクリックしてください。

6 **［カスタムインストール］画面で［EPSON プリンタウィンドウ !3（ネットワークモジュール）］の左側のボタンをクリックします。**
手順 6 を実行しないと、プリンタドライバのユーティリティ機能の一部が正常に動作しないことがあります。

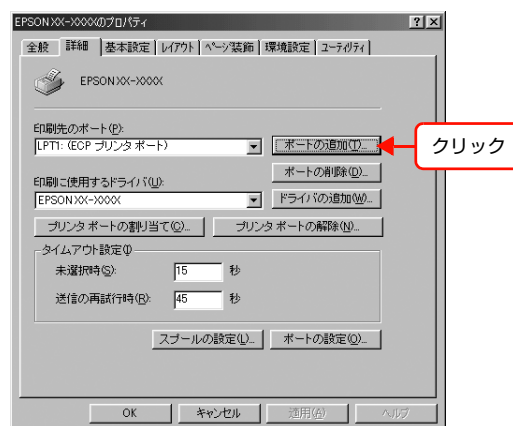
次にプリンタポートの設定を変更します。

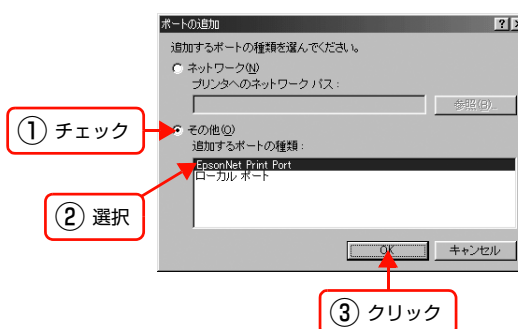
!注意 プリンタドライバをインストールしただけでは、EpsonNet Print を使用した印刷はできません。必ずプリンタポートを設定してください。

プリンタポートの作成と設定変更

1 ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 インストールされた本製品のアイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

3 表示された画面の［詳細］タブをクリックします。

4 ［ポートの追加］をクリックします。

［ポートの追加］画面が表示されます。

5 ［その他］にチェックを付け、［EpsonNet Print Port］を選択して、［OK］をクリックします。

［EpsonNet Print ポートの追加ウィザード］画面が表示されます。

6 本製品を選択して、[次へ] をクリックします。

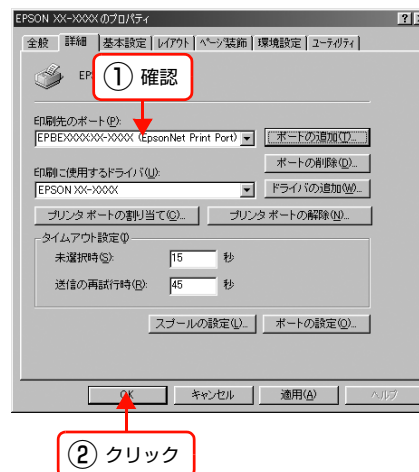
本製品が表示されないときは電源がオンになっているか確認して［再検索］をクリックするか、[ポート直接入力]をクリックしてアドレスを指定してください。

> **参考**
> - [ポート直接入力］の詳細は、以下を参照してください。
>   ☞ 本書 55 ページ「アドレスを直接指定する」
> - 別セグメントの本製品を指定するときは、[ネットワーク設定] をクリックして設定します。
>   ☞ 本書 54 ページ「探索方法を変更する」
> - [ネットワーク設定]をクリックして設定を変更したときやポートの追加中に本製品の電源をオンにしたときは、[再検索] をクリックしてください。

7 画面の内容を確認して、[完了] をクリックします。

[ポートタイプ選択] でポートタイプを選択できます。通常は変更する必要はありません。
各項目の説明は、下表を参照してください。

項目名		内容
[ポートタイプ選択]		作成するポートのタイプを選択できます。本製品の設定に応じて、以下の項目が選択できます。
	IP アドレス（自動）	使用するパソコンと本製品が同一セグメント内にあり、本製品のネットワークインターフェイスの [IP アドレスの設定方法] が [自動] になっているときに選択できます。 本製品の IP アドレスが変更されても、ポートと IP アドレスが自動的に関連付けられるため、IP アドレスが変わるたびに使用するパソコンのポート名を変更する必要がありません。
	IP アドレス（固定）	本製品のネットワークインターフェイスが固定アドレスのときに選択します。DHCP サーバなどによって各アドレスを自動で取得しているときは、選択しないでください。
ポート名		[ポートタイプ選択] リストで選択した項目によって以下のように表示します。 [IP アドレス（自動)]　：EP+MAC アドレス下 6 桁：本製品名 [IP アドレス（固定)]　：IP アドレス：本製品名
モデル名		本製品名を表示します。
名前または IP アドレス		[ポートタイプ選択] リストで選択した項目によって以下のように表示します。 [IP アドレス（自動)]　：IP アドレス [IP アドレス（固定)]　：IP アドレス
プロトコル		使用プロトコル（拡張 LPR）を表示します。

8 **プリンタポートを確認して、[OK] をクリックします。**

以上で終了です。

印刷方法を設定するときは、以下のページに進んでください。
☞ 本書 56 ページ「印刷方式を変更する」

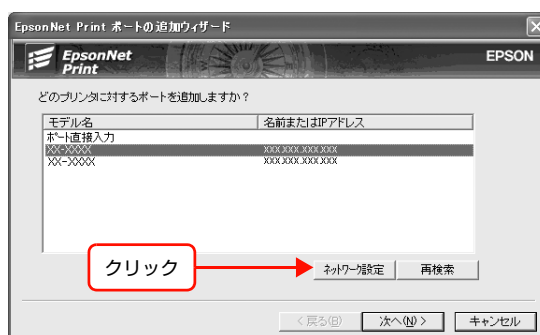
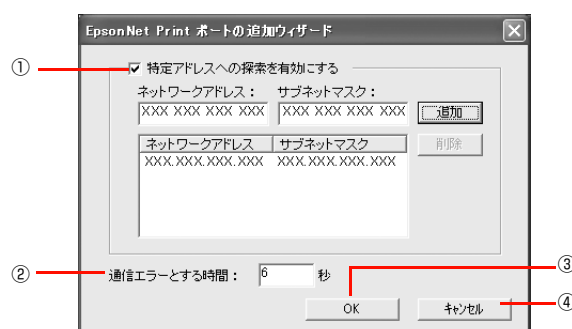
次にネットワークスキャナの設定をします。
☞ 本書 63 ページ「ネットワークスキャナの設定」

その他の機能

探索方法の詳細設定や印刷データの送信方法などを設定できます。

探索方法を変更する

画面の表示方法

［EpsonNet Print ポートの追加ウィザード］の［ネットワーク設定］をクリックすると表示されます。

項目の説明

	項目名	内容
①	特定のアドレスの探索を有効にする	チェックを付けると指定したセグメント内のエプソン製デバイスを探索できます。［ネットワークアドレス］と［サブネットマスク］を入力して、［追加］をクリックします。
	ネットワークアドレス	探索するセグメントの IP アドレスを入力します。 例）192.168.2.0
	サブネットマスク	探索するセグメントのネットワークアドレスのクラスに応じたサブネットマスクを入力します。 例）255.255.255.0
	［追加］	入力されたネットワークセグメント（ネットワークアドレスとサブネットマスク）を一覧に追加します。
	［削除］	一覧で選択された項目を削除します。
②	通信エラーとする時間	エプソン製デバイスに対してパケットを発信してから、返信が届くまでの待機時間を 2 ～ 120（初期値は 6）までの間で設定します。ここで設定した時間を超えて返信がないときはエラーになります。
③	［OK］	設定を有効にして、画面を閉じます。
④	［キャンセル］	設定を取り消して、画面を閉じます。

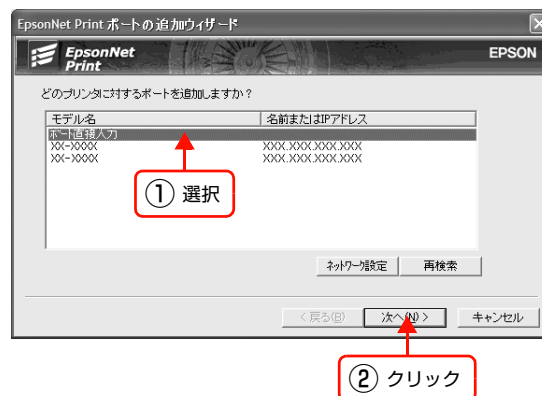
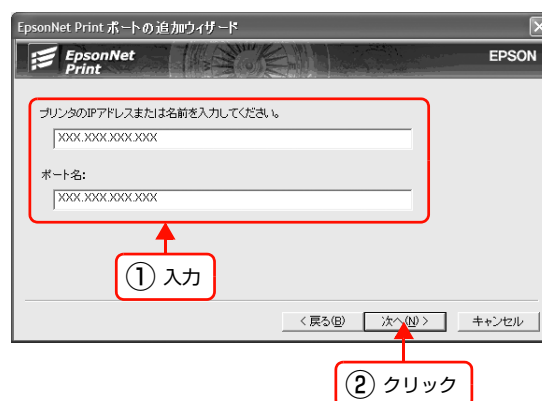
EpsonNet Printをインストールしたパソコンがクラス B ネットワークアドレス（128.0.0.0～191.255.255.255）で設定されていると、クラス C ネットワークアドレス（192.0.0.0 ～ 223.255.255.255）で設定したネットワークデバイスが検索されないことがあります。このようなときはデバイスの IP アドレスを直接入力してポートを作成してください。

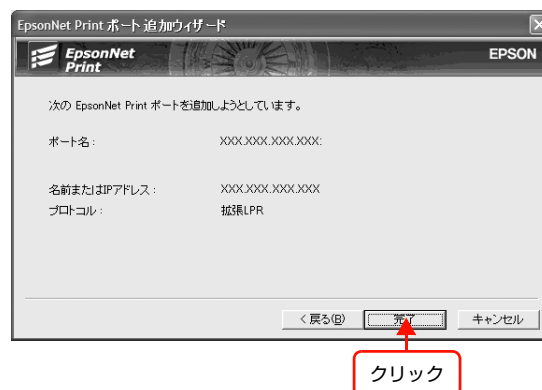
☞ 本書 55 ページ「アドレスを直接指定する」

アドレスを直接指定する

本製品に固定アドレスを設定している場合や、ローカルエリアネットワークの事情でネットワークデバイスの検索でも本製品が表示されない場合は、［ポート直接入力］を使用してポートを作成します。ここでは、Windows XP の画面で説明します。

！注意 アドレスを自動取得しているときは、この機能を使用しないでください。

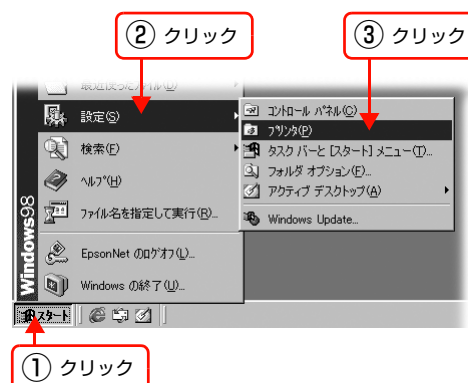
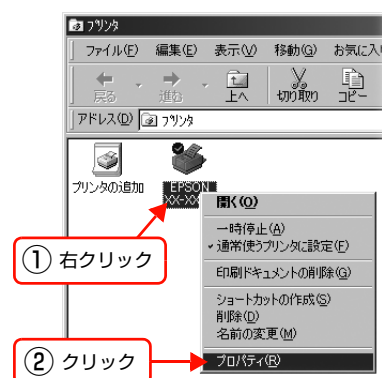
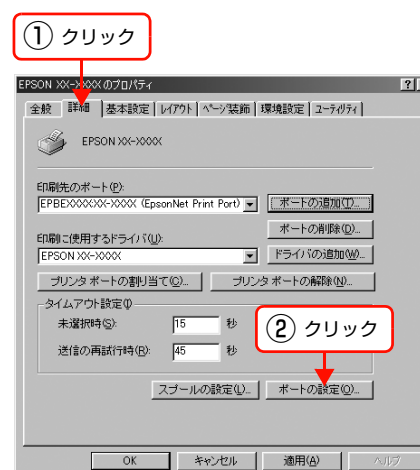
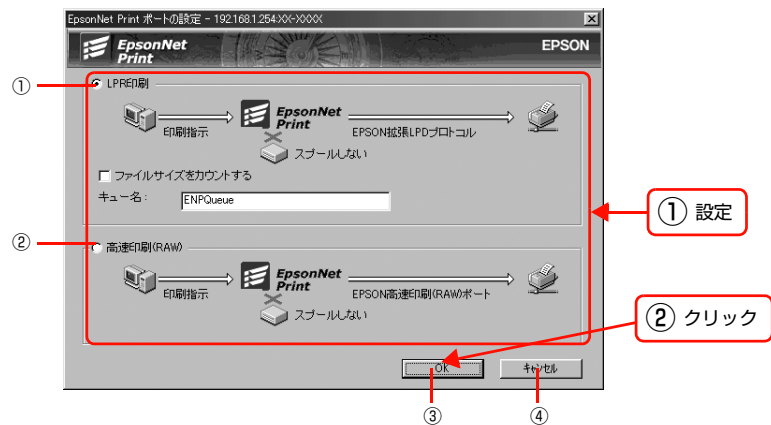
1 **［ポート直接入力］を選択して、［次へ］をクリックします。**

2 **下表を参照し、各項目を入力して［次へ］をクリックします。**

項目名	内容
プリンタのIPアドレスまたは名前を入力してください。	本製品を指定するための IP アドレス / ホスト名 /FQDN のいずれかを、半角英数 127 文字以内で入力します。
ポート名：	［プリンタの IP アドレスまたは名前を入力してください。］に入力した文字列に「：」を付加し、自動的に表示します。

3 **画面の内容を確認して、［完了］をクリックします。**

以上で終了です。

印刷方式を変更する

印刷データの送信方法などが設定できます。Windows 98 の画面で説明します。

1 **［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。**

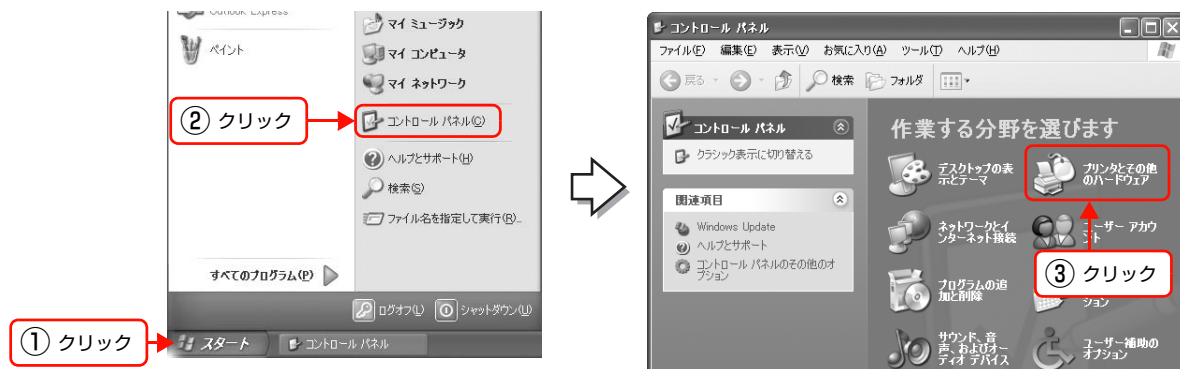
Windows XP：
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリック

2 **本製品のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

3 **プロパティの画面で、［詳細］タブにある［ポートの設定］（Windows 2000/XP は、［ポート］タブの［ポートの構成］）をクリックします。**

4 印刷方式を選択して、[OK] をクリックします。

	項目名		内容
①	LPR 印刷		EPSON 拡張 LPD プロトコル（拡張印刷）を使用して、印刷データを直接プリンタに送信します。「ファイルサイズをカウントする」にチェックを付けるとより高速に印刷できます。
		ファイルサイズをカウントする	チェックを付けると、LPD プロトコルを使用して、印刷データをパソコンに一旦スプールしてからプリンタに送信します。
		キュー名	印刷キューに名前を付けられます。 通常は変更する必要はありません。
②	高速印刷（RAW）		最も高速に印刷するときに選択します。 LPR 印刷で使用する LPD プロトコルを使わずに印刷します。
③	[OK]		設定を有効にして、画面を閉じます。
④	[キャンセル]		設定を取り消して、画面を閉じます。

以上で終了です。

Windows（標準 TCP/IP）

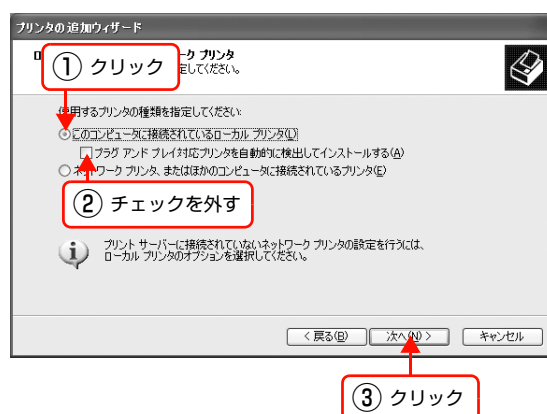
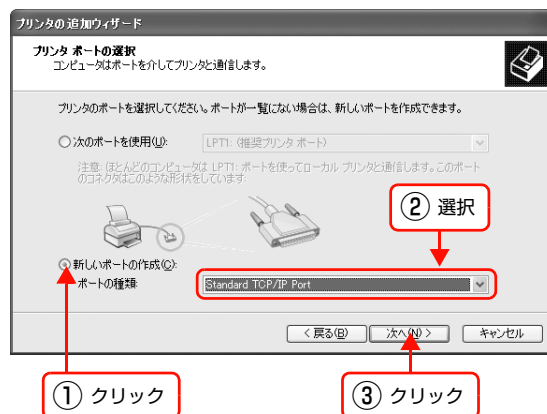
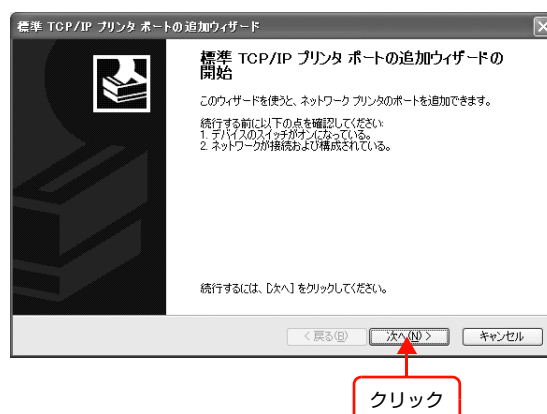
ここでは、Windows 2000/XP の標準 TCP/IP 印刷（Standard TCP/IP）の設定手順を説明します。

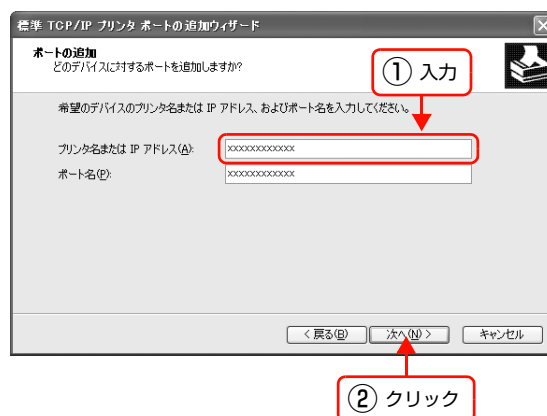
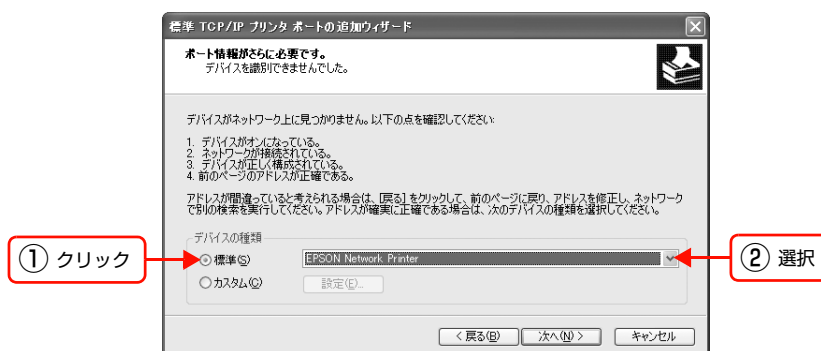
1 **［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**

Windows 2000：［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリック

2 **［プリンタを追加する］をクリックして、表示される画面で［次へ］をクリックします。**

Windows 2000：［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックして、［次へ］をクリック

3 **［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択します。［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックします。**

Windows 2000：
［ローカルプリンタ］を選択
［プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリック

4 ［新しいポートの作成］を選択します。［Standard TCP/IP Port］を選択して、［次へ］をクリックします。

5 ［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されたら、［次へ］をクリックします。

6 ［プリンタ名または IP アドレス］項目に本製品の IP アドレスを入力して、［次へ］をクリックします。

［ポート名］は自動的に入力される文字列のままで、変更する必要はありません。

参考 何らかの理由で本製品が正しく検出できなかったときに下の画面が表示されます。このようなときは、［標準］を選択し、［EPSON Network Printer］を選択します。

7 ［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了］画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

8 ［ディスク使用］をクリックして、本製品のソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットします。

9 CD-ROM ドライブ名とディレクトリ名を半角で入力後、画面の指示に従って設定を終了します。

OS	入力例
Windows 2000/XP	WINXP_2K
Windows XP Professional x64	WINXP64

以上で終了です。

次にネットワークスキャナの設定をします。
☞ 本書 63 ページ「ネットワークスキャナの設定」

Mac OS X v10.2.8 以降

プリンタドライバをインストールした後に、本製品をセットアップします。印刷プロトコルは、EPSON TCP/IP、Bonjour（Mac OS X v10.4 以降）、Rendezvous（Mac OS X v10.2.8 ～ v10.3）の中から選択できます。

1 **パソコンに、本製品のソフトウェア CD-ROM をセットして、デスクトップの［EPSON］アイコンをダブルクリックします。**

2 **［Mac OS X］をダブルクリックします。**

3 **［カスタムインストール］をクリックします。**

4 **［プリンタドライバ］左のボタンをクリックします。**

5 **画面の指示に従ってインストールを進めます。**
ドライバのインストールが終了したら、画面左上の[ ]をクリックして本製品のソフトウェア CD-ROM を終了します。

次に本製品を追加します。

6 **本製品の電源がオンになっていて、ネットワーク通信ができていることを確認してください。**
☞ 本書 40 ページ「本製品の設置」

7 **［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックします。**

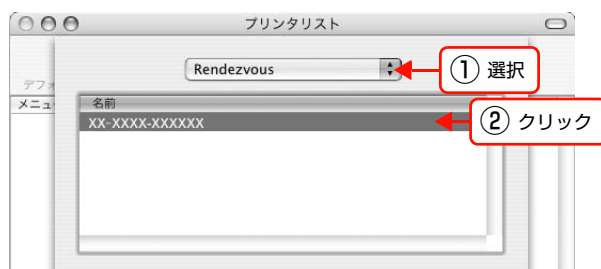
［Macintosh HD］の名前を変更しているときは、Mac OS X を起動中のハードディスクアイコンをダブルクリックしてください。

8 **［アプリケーション］フォルダをクリックして、［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。**

9 **［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。**
Mac OS X v10.2.8：
［プリントセンター］アイコンをダブルクリック

10 **［プリンタリスト］またはメッセージ画面で［追加］をクリックします。**

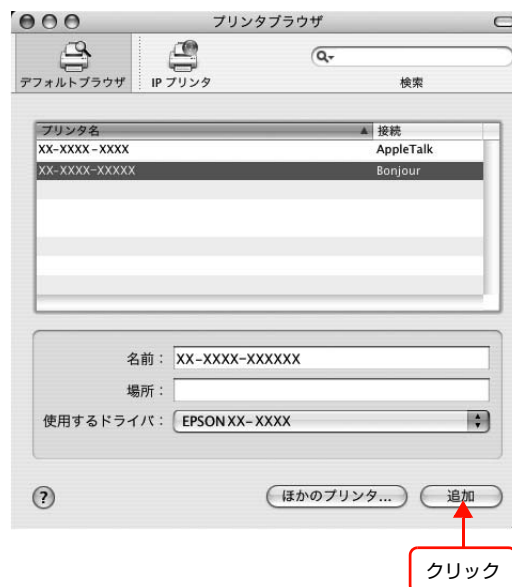
11 ［プリンタブラウザ画面］または［プリンタリスト］で本製品をクリックします。

Mac OS X v10.2.8-v10.3：［プリンタリスト］画面の一覧から、目的の印刷プロトコルを選択

使用プロトコル	選択する接続または項目
TCP/IP	EPSON TCP/IP または TCP/IP
Bonjour	Bonjour
Rendezvous	Rendezvous

- Mac OS X v10.4 で本製品が目的の接続方法で表示されていないときは、以下の操作をします。
  ①［ほかのプリンタ…］をクリックします。
  ②表示された画面で目的の接続を選択します。
  ③本製品を選択して、［追加］をクリックします。
- ［EPSON TCP/IP］での印刷は、コンピュータと本製品に IP アドレスなどの情報を設定してください。
  ☞ 本書 29 ページ「EpsonNet Config で設定する」

12 ［追加］をクリックします。

Mac OS X v10.2.8-v10.3

Mac OS X v10.4

以上で終了です。

次にネットワークスキャナの設定をします。

本書 63 ページ「ネットワークスキャナの設定」

4 ネットワークスキャナの設定

ネットワークスキャンをするための「EPSON Scan」のインストールと接続確認の方法を説明しています。

EPSON Scanのインストール

EPSON Scan のインストール手順を説明します。
Windows 2000/XP または Mac OS X にインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

!注意
- ネットワーク経由でEPSON Scanを使用するには、使用するパソコンと本製品それぞれにIPアドレスなどの各種アドレスを設定する必要があります。
  ☞ 本書 11 ページ「パソコンのネットワーク設定確認」
  ☞ 本書 22 ページ「本製品のネットワーク設定」
- ルータを越えた場所にある本製品（別セグメントの本製品）のスキャン機能はご使用できません。

1 パソコンに本製品のソフトウェア CD-ROM をセットします。
- Windows：手順 3 に進む
- Mac OS X：表示されたアイコンをダブルクリック

2 Mac OS のアイコンをダブルクリックします。

3 ［カスタムインストール］をクリックします。
Windows 環境でインストール画面が自動的に表示されないときは、［マイコンピュータ］内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。

4 ［スキャナドライバ（EPSON Scan)］の左側のボタンをクリックします。

5 この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

以上で終了です。

次に EPSON Scan の設定をします。
☞ 本書 65 ページ「EPSON Scan の設定」

EPSON Scan の設定

「EPSON Scan」を使う前に、使用するパソコンと本製品がネットワーク通信できていることを、以下の手順に従って確認します。

Windows

1 パソコンを起動します。

2 [スタート] - [すべてのプログラム](または [プログラム])- [EPSONScan] - [EPSON Scan の設定] の順にクリックします。

[EPSON Scan の設定] 画面が表示されます。

3 [スキャナの選択] リストで本製品を選択して [接続方法] で [ネットワーク接続] をクリックし、[ネットワークスキャナの指定] - [追加] をクリックします。

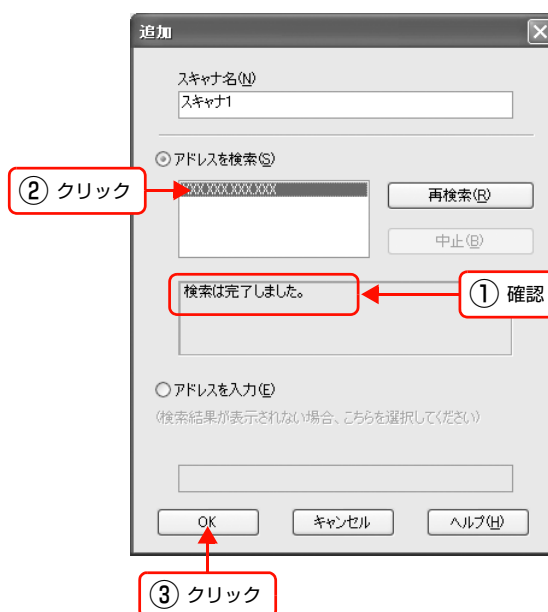
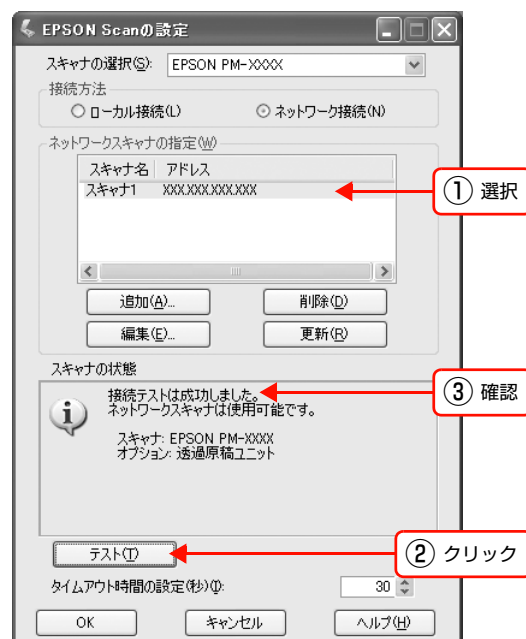
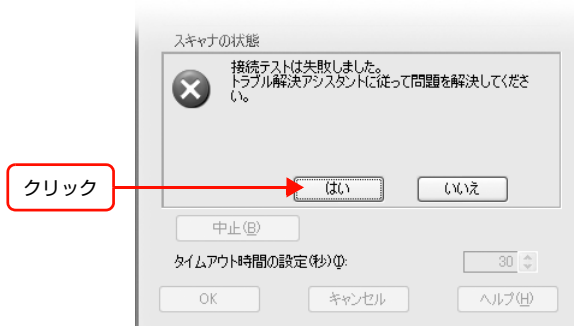
[追加] 画面が表示され、自動的に本製品を検索します。

- [追加]:
  本製品をリストに追加するときにクリックします。
- [削除]:
  本製品をリストから削除するときにクリックします。
- [編集]:
  [スキャナ名] を設定するときにクリックします。
- [更新]:
  [ネットワークスキャナの指定]にリストアップされている本製品の IP アドレスを更新するときにクリックします。ただし、[アドレスを入力] を選択して IP アドレスを入力したときは、更新されません。

4 検索が完了したことを確認して IP アドレスをクリックし、[OK] をクリックします。

参考

- 同じネットワーク上に複数本製品が接続されているときは、[スキャナ名] に設置場所などの名前も付けておくと IP アドレスが変わっても本製品を特定しやすくなります。
- [スキャナ名]は、全角 16 文字 / 半角 32 文字まで入力できます。
- [アドレスを入力] で追加するときは、EpsonNet Config(Windows)/(Mac OS)から本製品に固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

☞ 本書 38 ページ「TCP/IP に関する設定」

5 **IPアドレスを選択して[テスト]をクリックします。**
[スキャナの状態]欄に「接続テストは成功しました。ネットワークスキャナは使用可能です。」と表示されることを確認してください。

参考 「接続テストは失敗しました。」と表示されたときは［はい］をクリックして、「EPSON Scan トラブル解決アシスタント」を参照してください。

6 **［OK］をクリックします。**

以上で終了です。

EPSON Scan の使い方は、EPSON Scan のヘルプまたは本製品の取扱説明書を参照してください。
本製品のメモリカードスロットをネットワーク経由で使用するときは、以下のページへ進んでください。
☞ 本書 69 ページ「ネットワークメモリカードスロットの設定」

Mac OS X

1 パソコンを起動します。

2 [Macintosh HD] - [アプリケーション] - [ユーティリティ] - [EPSON Scan の設定] の順にダブルクリックします。

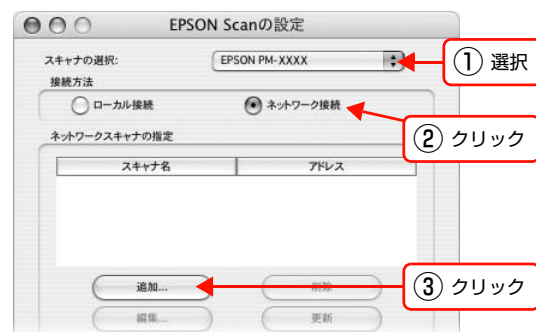
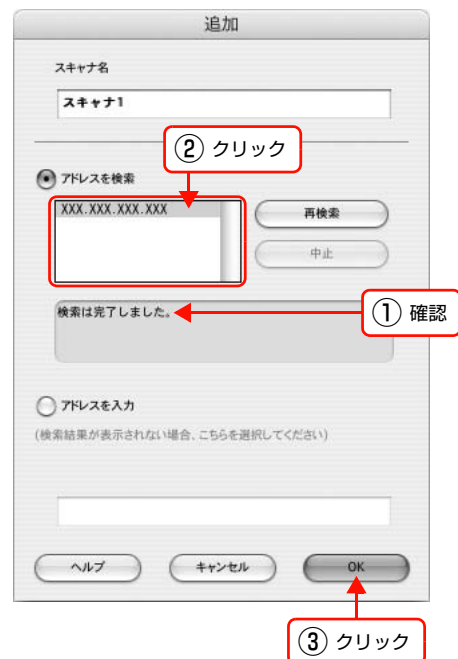
3 [スキャナの選択] リストで本製品を選択して [接続方法] で [ネットワーク接続] をクリックし、[ネットワークスキャナの指定] - [追加] をクリックします。

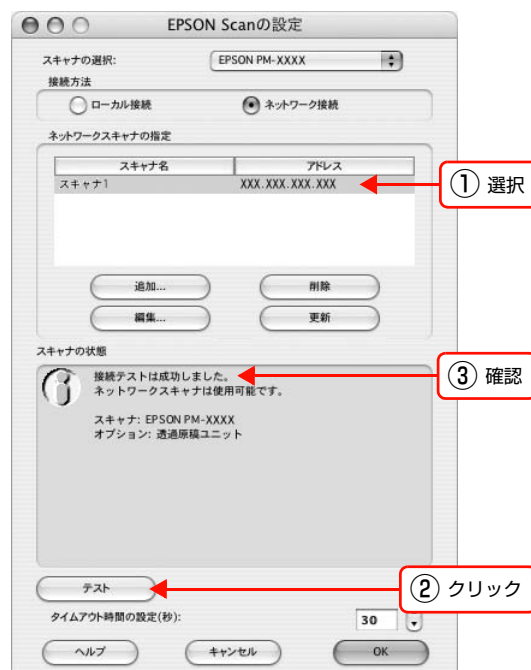
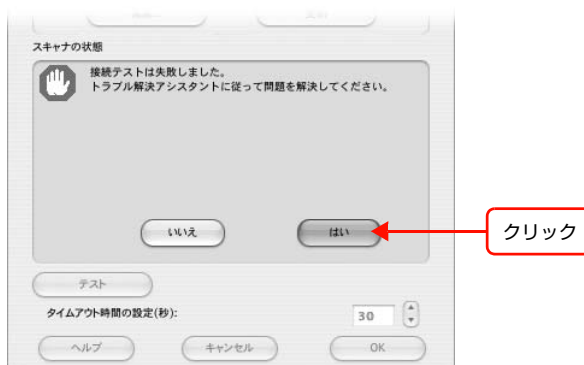
[追加] 画面が表示され、自動的に本製品を検索します。

参考

- [追加]：
  本製品をリストに追加するときにクリックします。
- [削除]：
  本製品をリストから削除するときにクリックします。
- [編集]：
  [スキャナ名] を設定するときにクリックします。
- [更新]：
  [ネットワークスキャナの指定]にリストアップされている本製品の IP アドレスを更新するときにクリックします。ただし、[アドレスを入力] を選択して IP アドレスを入力したときは、更新されません。

4 検索が完了したことを確認して IP アドレスをクリックし、[OK] をクリックします。

参考

同じネットワーク上に複数本製品が接続されているときは、[スキャナ名] に設置場所などの名前も付けておくと IP アドレスが変わっても本製品を特定しやすくなります。
[スキャナ名] は、全角 16 文字 / 半角 32 文字まで入力できます。
[アドレスを入力] で追加する場合は、EpsonNet Config (Windows) / (Mac OS) から本製品に固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。
☞ 本書 38 ページ「TCP/IP に関する設定」

5 **IPアドレスを選択して[テスト]をクリックします。**

[スキャナの状態]欄に「接続テストは成功しました。ネットワークスキャナは使用可能です。」と表示されることを確認してください。

参考 「接続テストは失敗しました。」と表示されたときは［はい］をクリックして、「EPSON Scan トラブル解決アシスタント」を参照してください。

6 **［OK］をクリックします。**

以上で終了です。

EPSON Scan の使い方は、EPSON Scan のヘルプまたは本製品の取扱説明書を参照してください。

5 ネットワークメモリカードスロットの設定

ここでは、ネットワーク上のパソコン（Windows）から本製品のメモリカードスロットの使い方を説明しています。

動作環境

本製品のメモリカードスロットをネットワークドライブとして使用できる OS は以下の通りです。

- Windows 98 SecondEdition
- Windows Me
- Windows 2000
- Windows XP

- Mac OS はネットワークメモリカードスロット機能に対応していません。
- Windows 98 では、SecondEdition 以降がネットワークメモリカードスロット機能に対応しています。

設定と使用方法

メモリカードスロットをネットワーク共有するには、本製品の操作パネルで［ファイル共有設定］を［有効］にしないと使えません。また書き込みを可能にするには、共有モードを［読み書き可能］にしてください。
詳細は「準備ガイド」を参照してください。
☞「準備ガイド」（紙マニュアル）－「ファイル共有の設定」

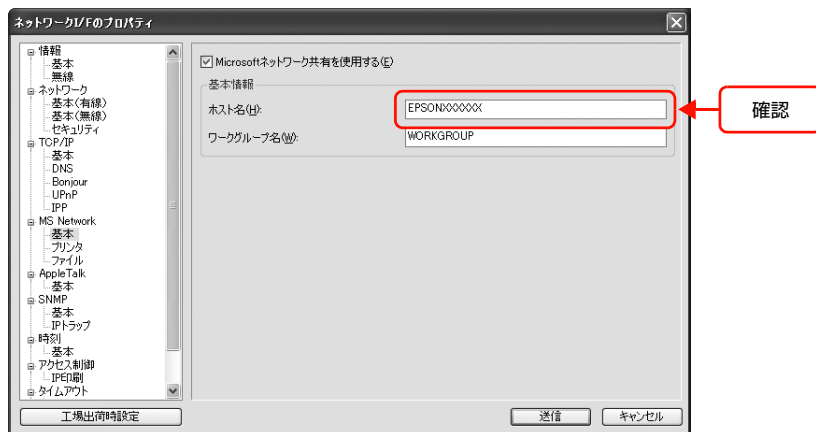
確認

ネットワーク共有するための、ホスト名を確認します。

1 **EpsonNet Config（Windows）を起動します。**
☞ 本書 31 ページ「EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の起動」

2 **本製品を選択して［設定開始］をクリックします。**

3 **［MS Network］-［基本］をクリックします。**

4 **［ホスト名］を確認して、メモを取ります。**

5 **画面右上の［×］をクリックします。**

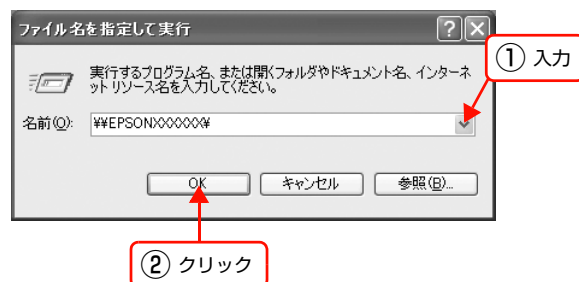
以上で終了です。

次に接続します。

接続

本製品のメモリカードスロットをネットワークドライブとして割り当てます。

1 **［スタート］-［ファイル名を指定して実行］の順にクリックします。**
［ファイル名を指定して実行］画面が表示されます。

2 **［名前］リストに確認した本製品の［ホスト名］を入力して、［OK］をクリックします。**
以下の書式で入力します。
書式）￥￥（本製品のホスト名）￥

3 **表示された画面で［MEMORYCARD］アイコンを右クリックして、［ネットワークドライブの割り当て］をクリックします。**
［ネットワークドライブの割り当て］画面が表示されます。

［MEMORYCARD］は工場出荷時の共有名です。
EpsonNet Config（Windows）から共有名の確認と変更ができます。
詳細は EpsonNet Config（Windows）のヘルプを参照してください。

4 **必要に応じて［ドライブ］リストから、割り当てたいドライブ文字を選択します。**
パソコンを起動するたびにネットワークストレージを使用するときは、［ログオン時に再接続］にチェックをつけてください。

5 **［完了］をクリックします。**

割り当てたネットワークドライブは、マイコンピュータ内にハードディスクなどと同様に表示されています。

ネットワークドライブアイコンをダブルクリックすることで、内部ファイルを表示させ、読み込み / 書き込みできます。

書き込みをするには、操作パネルで［ファイル共有設定］の共有モードを［有効］にして、［読み書き可能］にしている必要があります。

「準備ガイド」（紙マニュアル）－「ファイル共有の設定」

参考

本製品を［読み込み専用］にしているときに、パソコンからデータ削除を実行すると、パソコン画面上は削除したように見えますが、実際のデータは削除されていません（表示を更新すると元に戻ります）。

以上で終了です。

6 EPSON Web Config の使い方

EPSON Web Config の動作環境や、起動方法を説明します。

EPSON Web Config の使い方

EPSON Web Config を使用して、パソコンやデジタル家電の Web ブラウザから、本製品のネットワーク設定や印刷設定ができます。

動作環境

EPSON Web Config は、以下の Web ブラウザ環境から操作できます。

パソコン

対応ブラウザ	Internet Explorer Ver 6.0 Safari 1.x（Mac OS X 10.2.8/10.3）、Safari 2.0（Mac OS X 10.4）

デジタル家電

Web ブラウザを搭載した、印刷機能に対応した機器

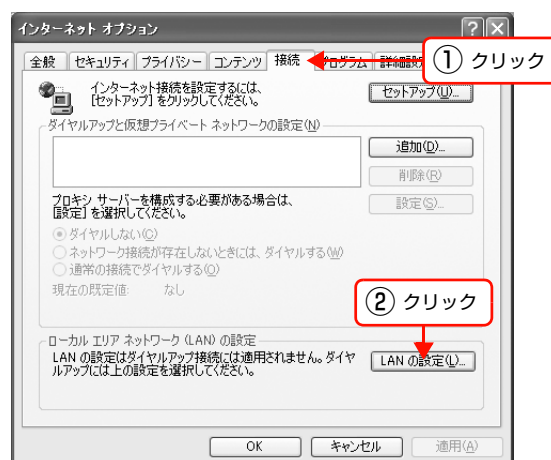
Web ブラウザの設定に関する注意

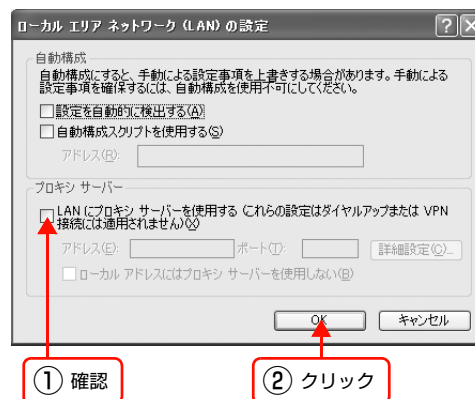
プロキシサーバを使用する場合と使用しない場合で、Web ブラウザの設定が異なります。
ここでは Windows XP 版の Internet Explorer 6.0 を例に、プロキシサーバを使用する場合と使用しない場合の設定を合わせて説明します。

Web ブラウザに Safari を使用して、プロキシサーバを使用するときは、以下を参照して［システム環境設定］-［ネットワーク］-［プロキシ］で設定をしてください。
プロキシサーバを使用しないときは、設定する必要はありません。
例：
ローカルアドレス 192.168.1.XXX 、サブネットマスク 255.255.255.0 の場合：192.168.1.*
ローカルアドレス 192.168.XXX.XXX 、サブネットマスク 255.255.0.0 の場合：192.168.*.*

1. Internet Explorer を起動します。

2. ［ツール］-［インターネットオプション］をクリックします。

3. ［接続］タブをクリックして、［LAN の設定］をクリックします。

4 **プロキシサーバを使う場合、使わない場合ごとに設定を確認します。**

プロキシサーバを使用する：
［LAN にプロキシサーバーを使用する］にチェックを付ける
プロキシサーバを使用しない：
［LANにプロキシサーバーを使用する］にチェックを外す

以上で終了です。

インストール(Windows)

EPSON Web Config を Windows から使用するには、Web ブラウザで表示させるためのソフトウェアをインストールします。Bonjour や Rendezvous に対応している Mac OS X ではソフトウェアのインストールは不要です（ただし Rendezvous を有効にしてください）。デジタル家電も Web ブラウザで起動できるため、ソフトウェアのインストールは不要です。
以下にソフトウェアをパソコンにインストールする手順を説明します。
Windows 2000/XP にインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

1 **パソコンに本製品のソフトウェア CD-ROM をセットします。**

2 **［カスタムインストール］をクリックします。**

インストール画面が自動的に表示されないときは、［マイコンピュータ］内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。

3 **［EPSON Web Config］の左側のボタンをクリックします。**

4 **この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。**

以上で終了です。

次に EPSON Web Config を起動します。

起動

パソコン、デジタル家電から起動する方法を説明します。

パソコンから起動

パソコンから起動するには、以下の方法があります。

- ソフトウェアから起動（Windows のみ）
- パソコンの Web ブラウザから起動
- EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）から起動

パソコンから EPSON Web Config を起動する前に、以下の設定をしておいてください。

①設定に使うパソコンへの IP アドレス設定

☞ 本書 11 ページ「パソコンのネットワーク設定確認」

②設定に使うパソコンへの Web ブラウザのインストール

☞ 本書 75 ページ「動作環境」

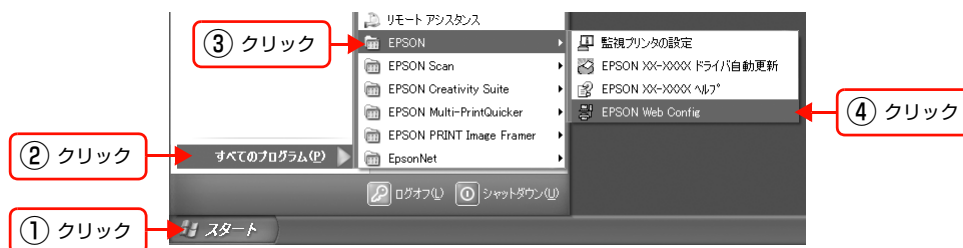
③本製品への IP アドレス設定

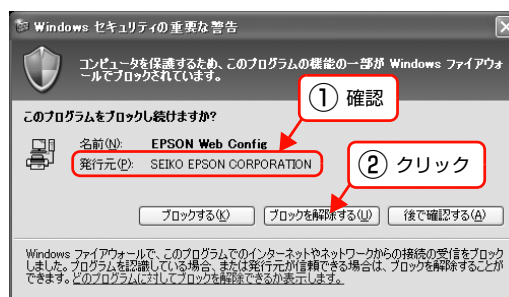
☞ 本書 22 ページ「本製品のネットワーク設定」

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）と EPSON Web Config から、同時に同じ本製品に対して設定しないでください。

ソフトウェアから起動（Windows のみ）

［スタート］-［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［EPSON］-［EPSON Web Config］の順にクリックして起動します。

参考

以下の画面が表示されたら、発行元が［SEIKO EPSON CORPORATION］であることを確認して、［ブロックを解除する］をクリックしてください。［ブロックする］をクリックしたときは、EPSON Web Config を Windows ファイアウォールに登録してください。

☞ 本書 81 ページ「困ったときは」

パソコンの Web ブラウザから起動

Windows の場合は Web ブラウザを起動し本製品の IP アドレスをアドレスバーに入力して、[Enter] または [return] キーを押します。
このとき、EpsonNet Config は起動しないでください。

書式）http:// 本製品の IP アドレス /
例）http://192.168.100.201/

IP アドレスを自動取得にしているときは、IP アドレスが変わることがあります。以前に入力した IP アドレスやブックマークなどを利用して指定しても EPSON Web Config が起動できないときは、操作パネルまたはネットワークステータスシートで本製品の IP アドレスを確認してください。
☞「準備ガイド」（紙マニュアル）

Mac OS X の Safari から起動する場合は、以下の手順で起動してください。

1 **メニューから［Safari］-［環境設定］を選択します。**

2 **「ブックマーク」ウィンドウで、以下の項目にチェックを付けます。**
　ブックマークバー：Bonjour を表示（または Rendezvous を含める）
　ブックマークメニュー：Bonjour を表示（または Rendezvous を含める）

3 **アドレスバー下のメニュー追加された［Bonjour］（または［Rendezvous］）をクリックし、ドロップダウンリストから本製品（Bonjour/Rendezvous プリンタ名）を選択します。**
EPSON Web Config が Safari 上で表示されます。
このとき、EpsonNet Config は起動しないでください。

EPSON Web Config を Safari で表示するには、本製品の Bonjour/Rendezvous 機能をオンにする必要があります（本製品の工場出荷時はオンになっています）。

EpsonNet Config(Windows)/(Mac OS)から起動

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）のリスト画面から、本製品を選択して [ブラウザの起動] をクリックします。

デジタル家電から起動

デジタル家電からの起動方法は、「準備ガイド」を参照してください。
☞「準備ガイド」（紙マニュアル）－「デジタル家電と接続して印刷」
デジタル家電の Web ブラウザ機能の詳細は、デジタル家電の取扱説明書を参照してください。

各項目の説明

メインメニューには以下の項目があります。

- ホームネットワーク印刷設定
- メンテナンス
- ネットワーク設定

また本製品の状態と、インク残量を表示します。

ホームネットワーク印刷設定メニュー

選択できる項目の一覧は以下の通りです。

項目	内容
用紙種類	EPSON クリスピア、写真用紙、写真用紙エントリー、フォトマット紙、郵便 IJ ハガキ、郵便光沢ハガキ、郵便ハガキ、普通紙、両面マット紙、CD/DVD レーベル、フォトシール全面、アイロンペーパー
用紙サイズ	L 判、2L 判、六切、A4、ハガキ、ハイビジョンサイズ、KG サイズ、カード、名刺、CD/DVD
給紙方法	前面、背面、CD-R
品質	速い、標準、きれい

メンテナンスメニュー

選択できる項目は以下の通りです。

ネットワーク設定メニュー

選択できる項目は以下の通りです。

項目	内容
ネットワーク基本設定	現在の設定、プリンタ名、TCP/IP 設定、DNS サーバの設定方法、プロキシサーバ設定
無線 LAN 設定	現在の設定、無線 LAN、通信モード、SSID、セキュリティ設定、 WEP キーの入力方法、WEP キーの入力、TKIP 事前共有キーの入力、AES 事前共有キーの入力
インターネット定期 接続設定	有効、無効
初期設定へ戻す	ー

7 困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法を説明します。

設定や印刷に関するトラブル

ネットワーク設定ができない / ネットワーク印刷ができない

ネットワークステータスシートが印刷できますか？

ネットワークステータスシートに印刷されたネットワーク設定に誤りがないか確認してください。

TCP/IP で使用するときは、パソコンと本製品が通信できていますか？

本書の「PING コマンドによる通信確認方法」を参照して、通信できているか確認してください。
☞ 本書 94 ページ「PING コマンドによる通信確認方法」

通信できていないときは、以下の「有線 LAN 接続のときは、ハブ、LAN ケーブルなどは正常に機能していますか？」や「TCP/IP で使用するときは、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されていますか？」を参照してください。

有線 LAN 接続のときは、ハブ、LAN ケーブルなどが正常に機能していますか？

本製品の電源がオンになっていて、本製品を接続しているハブの、ポートのリンクランプが点灯または点滅しているか確認してください。リンクランプが消灯しているときは、以下のことを確認してください。

- ほかのポートに接続してみる
- ほかのハブに接続してみる
- LAN ケーブルを交換してみる

以上を確認しても通信ができないときは、本製品が故障している可能性があります。「操作ガイド」を参照してください。

TCP/IP で使用するときは、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されていますか？

工場出荷時［192.168.192.168］のままでは使用できません。この IP アドレスを使用するには、工場出荷時の値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力すると使用できます。本製品の IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

無線 LAN 通信が一旦途切れたり、通信不能になっていませんか？

本製品の操作パネルで、［ネットワーク設定］-［ネットワーク情報確認］を確認して、通信していないときは本製品の電源をオンにし直してください。
操作パネルの詳細は「準備ガイド」で確認してください。
☞「準備ガイド」（紙マニュアル）

正しくアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）に接続されていますか？

本製品の操作パネルの［ネットワーク設定］-［ネットワーク情報確認］で、［インターネット接続状態］や［接続状態］が［接続］になっているか確認してください。非接続のときは以下のことを確認してください。

- アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）の電源がオンになっているか
- 無線に関する設定が、接続するアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）に合っているか

無線に関する設定で間違った WEP キーが設定されていませんか？

本製品を初期設定に戻し、再度 EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）を使用して設定し直してください。
☞「準備ガイド」（紙マニュアル）

ハブ（HUB）やルータなどと、本製品の通信モード（Link Speed）があっていますか？

以下の表を参照して、ハブやルータなどと本製品の通信モードを、適切な組み合わせにしてください。
本製品の通信モードの初期値は［Auto］になっています。
接続先のハブやルータなどの通信モードの確認および設定方法は、接続機器の取扱説明書を参照してください。本製品の通信モードは EpsonNet Config で確認、および変更できます。EpsonNet Config の使い方は以下を参照してください。

☞ 本書 29 ページ「EpsonNet Config で設定する」

		接続先（ハブやルータなど）の設定				
		Auto	100BASE-TX Full Duplex	100BASE-TX Half Duplex	10BASE-T Full Duplex	10BASE-T Half Duplex
本製品の設定	Auto	○	×	○	×	○＊1
	100BASE-TX Full Duplex	×	○	×	×	×
	100BASE-TX Half Duplex	○	×	○	×	×
	10BASE-T Full Duplex	×	×	×	○	×
	10BASE-T Half Duplex	○＊1	×	×	×	○＊1

○：通信可能、×：通信不可
＊ 1：リピータハブは動作しない場合があります。

設定する IP アドレスがわからない

「準備ガイド」の「ネットワークの基礎知識」を参照してください。

ネットワーク管理者がいるときは、管理者に確認してください。

☞「準備ガイド」（紙マニュアル）

設定した IP アドレスが変わってしまう

操作パネルで［ネットワーク設定］ － ［TCP/IP 設定］ が［自動設定］になっていませんか？

［自動設定］にすると、本製品の電源をオンにするたびに IP アドレスが変わってしまいます。［自動設定］で利用するときは、本製品の電源をオンにする順番を決めるか、電源を常時オンにしておいてください。ただし、EpsonNet Print によるプリンタポートの設定では［自動設定］のままお使いいただけます（Windows のみ）。

ルータなどで DHCP 機能を使用していませんか？

DHCP 機能で本製品に IP アドレスを設定すると、本製品の電源をオンにするたびにパソコンに設定したプリンタポートを変更しなければなりません。
以下のいずれかの方法で本製品に固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

- DHCP機能を持つ機器のスコープ(クライアントに割り当てるIPアドレスの範囲)の範囲外のIPアドレスを設定する。
- DHCP 機能を持つ機器のバインドを使用して、本製品を特定する。
- DHCP 機能を持つ機器で除外アドレスに設定する。

- スコープ範囲、バインド、除外アドレスなどの設定方法は、ルータなど DHCP 機能を持つ機器の取扱説明書を参照してください。
- 本製品をダイヤルアップルータ使用中の環境に設置するときは、必ずその環境のセグメントに合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われる可能性があります。

ただし、EpsonNet Print によるプリンタポートの設定や EPSON TCP IP/Bonjour/Rendezvous 印刷（Mac OS X で Bonjour/Rendezvous を使用のとき）では DHCP 機能をお使いいただけます。

印刷に時間がかかる / データの末尾が欠ける

本製品と接続しているハブの通信モード（全二重 / 半二重）が合っていますか？
本製品の通信モード［Link Speed］は工場出荷時［自動］になっています。ハブの通信モードが固定されていると本製品との通信モードに不整合が発生するため、印刷速度が異常に遅くなったり、タイムアウトによって末尾のデータが欠けたりします。ハブの通信モードを確認して、EpsonNet Config を使用して本製品の通信モードをハブの設定と合わせてください。
 本書 32 ページ「設定方法」

電波の受信状態が悪くありませんか？
無線 LAN 環境で使用して、電波状態が悪いときは、本製品の周囲に障害物がないことを確認してください。また電波状態が良好となる場所へ本製品を移動するなどしてください。電波状態は本製品の操作パネル、または EpsonNet Config で確認できます。

同梱のソフトウェア使用時のトラブル

設定ソフトウェアが起動または設定できない

ソフトウェアインストール後に、プロトコルやサービスを変更しましたか？

EpsonNet Config（Windows）のインストール後に、パソコンでプロトコルやサービスの、追加または削除をすると、EpsonNet Config（Windows）が起動しなくなります。パソコンのプロトコルやサービスを追加または削除したときは、EpsonNet Config（Windows）を削除後、再インストールしてください。

☞ 本書 92 ページ「添付ソフトウェアの削除方法」
☞ 本書 29 ページ「EpsonNet Config をインストールする」

パソコンにネットワーク設定をしていますか？

パソコンにネットワーク設定をしていないと、「ネットワークがインストールされていないため、EpsonNet Config（Windows）を使用することはできません」というメッセージが表示されます。

このメッセージは、以下のようなときに表示されます。

- パソコンに TCP/IP プロトコルが組み込まれていない
- パソコンに TCP/IP プロトコルが組み込まれているが、IP アドレスが正しく設定されていない
- パソコンに TCP/IP プロトコルが組み込まれており、各種アドレスを自動取得する設定になっているが、DHCP サーバが応答していない

表示されたメッセージで［OK］をクリックすると EpsonNet Config（Windows）を起動できますが、TCP/IP の設定はできません。お使いのパソコンのネットワーク設定をしてください。

☞ 本書 11 ページ「パソコンのネットワーク設定確認」

本製品に IP アドレスを設定していますか？

EPSON Web Config を起動するには、先に EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）、または本製品の操作パネルで IP アドレスを設定してください。現在の設定は、操作パネル、またはネットワークステータスシートの［IP Address］欄で確認できます。

☞「準備ガイド」（紙マニュアル）

設定ソフトウェア起動時に製品名 /IP アドレスが表示されない

[Windows セキュリティの重要な警告] 画面やファイアウォールソフトが表示した画面で、[ブロックする] や［遮断する］を選択しましたか？

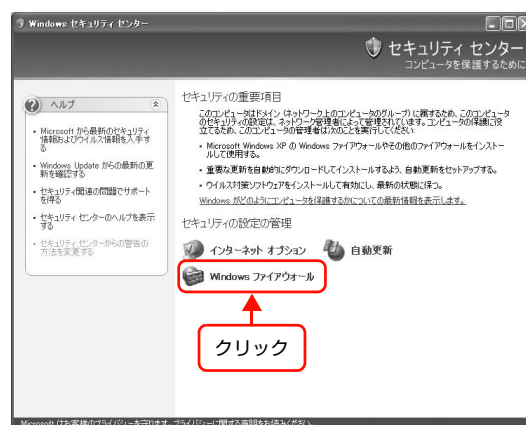
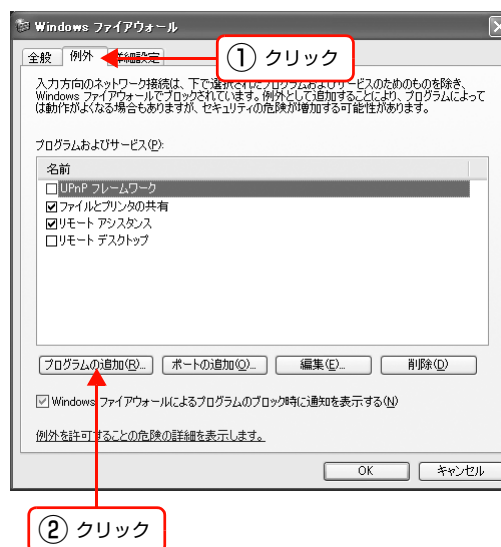
［ブロックする］や［遮断する］を選択すると、EPSON Web Config または EpsonNet Config（Windows）で製品名が表示されません。表示するには以下の手順を参照して、Windows ファイアウォールや市販のセキュリティソフトで、例外のアプリケーションとして登録してください。

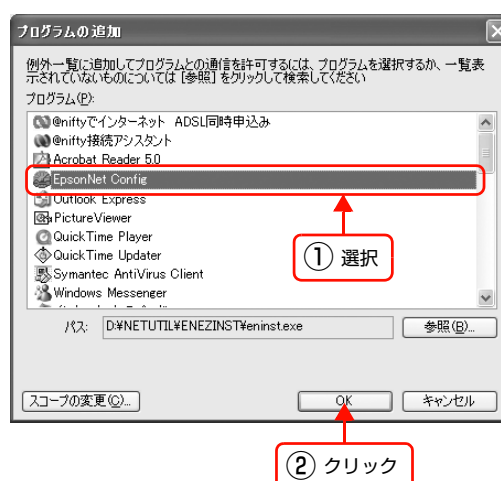
市販のセキュリティソフトの中には、以下の作業をしても表示できないことがあります。そのときは、市販のセキュリティソフトを一旦終了してから、本ソフトウェアを使用してみてください。

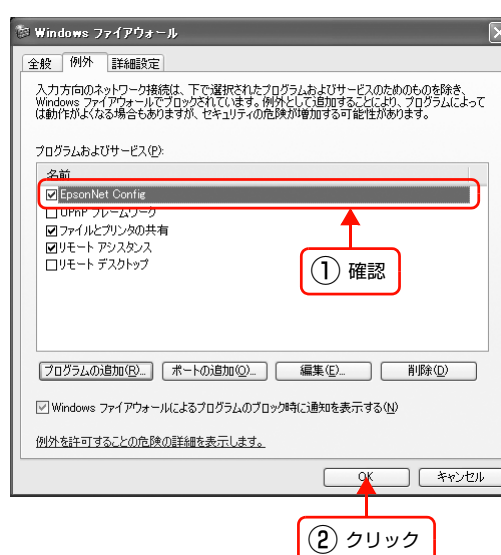
> **!注意** Windows ファイアウォールに例外登録すると、登録されたプログラムが使用するポートが外部からの通信を受け付けられるようになります。これは、ネットワーク経由の攻撃などセキュリティ上の危険性を高めたポートとなることを意味します。具体的なリスクとしては、コンピュータウィルスの侵入などが考えられます。Windows ファイアウォールの設定変更につきましては、このようなリスクなどもご確認の上、お客様の責任において実施していただきますようお願いいたします。
> 弊社は、この設定変更によって生じた損害および障害につきましては一切責任を負いません。

1 ［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックします。

2 ［セキュリティセンター］をクリックします。

3 [Windows ファイアウォール] をクリックします。

4 ［例外］タブをクリックして、［プログラムの追加］をクリックします。

5 ［EpsonNet Config］を選択して［OK］をクリックします。

EPSON Web Config のときは、［EPSON Web Config］を選択します。

6 ［EpsonNet Config］が［プログラムおよびサービス］に登録され、チェックが付いていることを確認したら、［OK］をクリックします。

EPSON Web Config のときは、［EPSON Web Config］にチェックが付いていることを確認します。

以上で終了です。

IP アドレスを工場出荷時から変更していますか？

本製品の IP アドレスが工場出荷時のままだと、[モデル名] と [IP アドレス] が表示されないことがあります。[モデル名] と [IP アドレス] が表示されなくても本製品のネットワークインターフェイスの設定はできますが、この場合は MAC アドレスで判別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートの [MAC Address] 欄で確認できます。本製品のネットワークインターフェイスを設定すると、正しく表示されるようになります。

☞「準備ガイド」(紙マニュアル)

[通信エラーとする時間] を変更してみてください。

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の [ツール] − [オプション] − [タイムアウト] で、[通信エラーとする時間] を大きい値に変更してみてください。ただし、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の動作が遅くなる（検索に時間がかかります）ため注意してください。

☞ 本書 32 ページ「設定方法」

EpsonNet Print を使って印刷すると、ダイヤルアップ接続画面が表示される

インターネットへの接続設定がダイヤルアップ接続になっていませんか？

メッセージ画面でキャンセルを選択するとその後は正常に印刷されますが、Windows 起動後の最初の印刷時に、毎回メッセージが表示されます。

このメッセージが表示されないようにするには、LAN 接続でインターネットに接続するよう設定するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。

Mac OS に関するトラブル

プリンタの追加で本製品が表示されない

プリンタドライバをインストールしていますか？
以下のページを参照して、プリンタドライバをインストールしてください。
本書 61 ページ「Mac OS X v10.2.8 以降」

パソコンにネットワーク設定をしていますか？
各プロトコルによって、設定が異なります。以下の設定になっているか確認してください。

- EPSON TCP/IP の場合
  [システム環境設定] の [ネットワーク] − [TCP/IP] タブで、各種アドレスが設定されているか本製品のネットワークインターフェイスに工場出荷時以外の正しい IP アドレスが設定されているか
  本書 18 ページ「TCP/IP の設定」
- Rendezvous（Mac OS X v10.2.8 ～ v10.3）および Bonjour（Mac OS X v10.4 以降）の場合
  EpsonNet Config（Mac OS）[ネットワーク I/F プロパティ] 画面の [TCP/IP] − [Bonjour] で [Bonjour を使用する] にチェックが付いているか
  本書 32 ページ「設定方法」

EPSON Scanに関するトラブル

EPSON Scanを起動、設定、スキャンできない

接続テストは成功しましたか？

失敗したときは、ネットワーク環境に問題がないか確認してください。

本書82ページ「設定や印刷に関するトラブル」

パソコンのIPアドレスは正しく設定されていますか？

IPアドレスなどネットワーク設定の詳細は以下を参照してください。

本書11ページ「パソコンのネットワーク設定確認」

通信が切断されたりしませんでしたか？

EPSON Scanの起動中に通信が切断されたときは、EPSON Scanを終了させて、しばらく待ってから再起動してください。再起動できないときは、本製品の電源をオンにし直してから、再びEPSON Scanを起動してください。

また、EPSON Scanの設定で［タイムアウト時間の設定］を確認してください。

詳細はEPSON Scanのヘルプを参照してください。

Windows XPのファイアウォール機能や市販のセキュリティソフトでファイアウォール機能をオンにしていませんか？

ファイアウォール機能をオンにしていると、［EPSON Scan の設定］で検索できないことがあります。そのときは、［EPSON Scanの設定］-［追加］をクリックし、［追加］ウィンドウの［アドレスを入力］をクリックして、直接IPアドレスを入力してください。

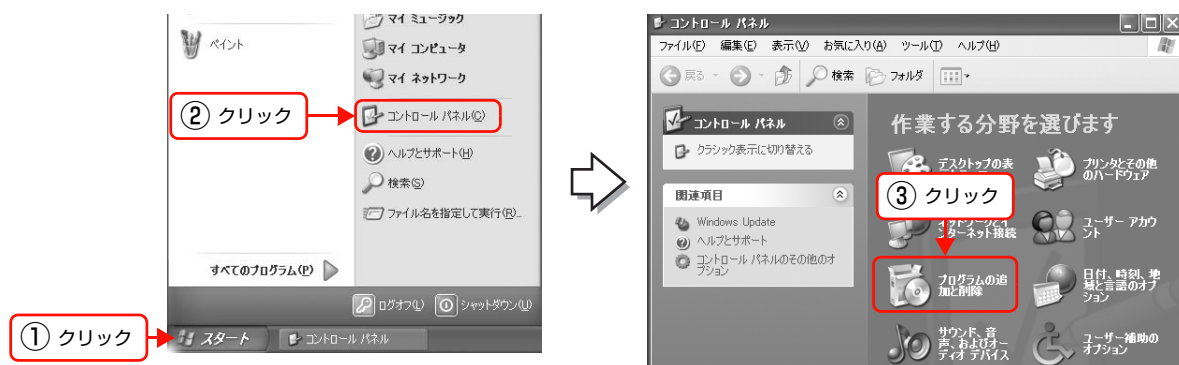
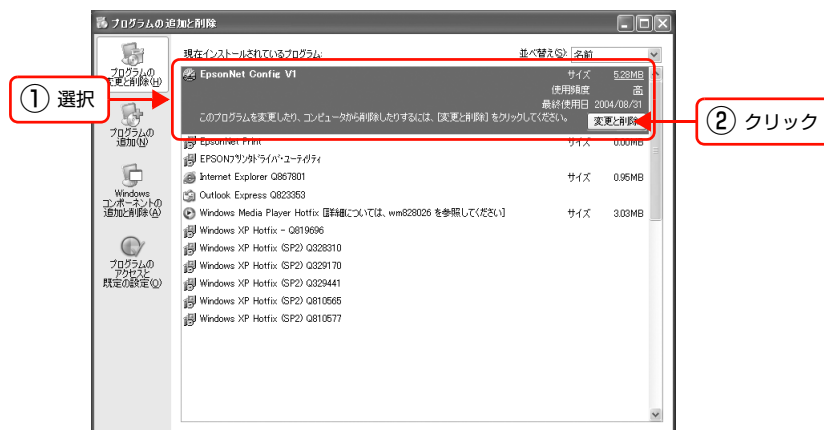
8 付録

添付ソフトウェアの削除方法

各 OS ごとの削除方法を説明します。
☞ 本書 92 ページ「Windows 用ソフトウェアを削除する」
☞ 本書 93 ページ「Mac OS 用ソフトウェアを削除する」

Windows 用ソフトウェアを削除する

Windows 2000/XP で削除するには、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

1 **［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックして、［プログラムの追加と削除］をクリックします。**
Windows 98/Me/2000：［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリック

2 **削除するソフトウェアを選択して、［変更と削除］をクリックします。**
Windows 98/Me：［追加と削除］をクリック

3 **この後は、画面の指示に従ってください。**

以上で終了です。

Mac OS 用ソフトウェアを削除する

Mac OS X で、EpsonNet Config（Mac OS X）を削除するには管理者権限を持つユーザーでログオンしてください。EpsonNet Config（Mac OS）の削除方法を説明します。

1 パソコンに、本製品のソフトウェア CD-ROM をセットして、表示されたアイコンをダブルクリックします。

2 Mac OS X のアイコンをダブルクリックします。

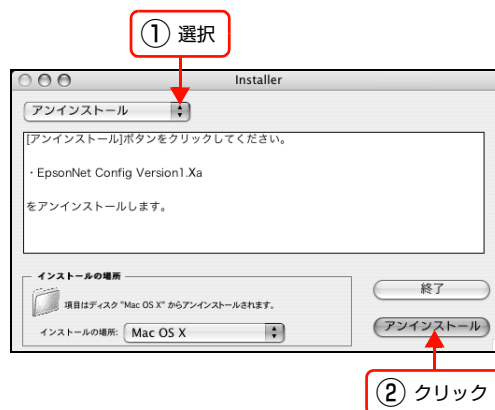
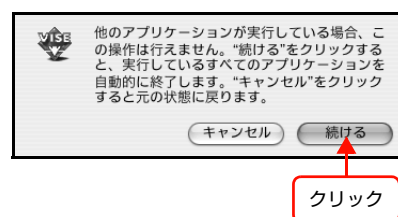
3 ［カスタムインストール］をクリックします。

4 ［EpsonNet Config］の左側のボタンをクリックします。

5 ［認証］画面が表示されたら、パスワードを入力してください。

6 表示された画面で［続ける...］をクリックします。

7 ［ライセンス］画面の使用許諾内容を確認して、［同意］をクリックします。

8 画面上部のリストから［アンインストール］を選択して、［アンインストール］をクリックします。

9 ［続ける］をクリックします。

10 この後は、画面の指示に従ってアンインストールします。

11 ［終了］をクリックします。

以上で終了です。

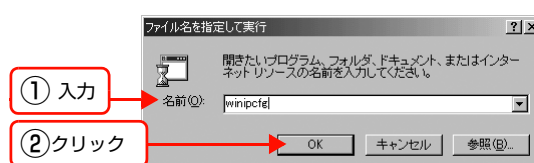
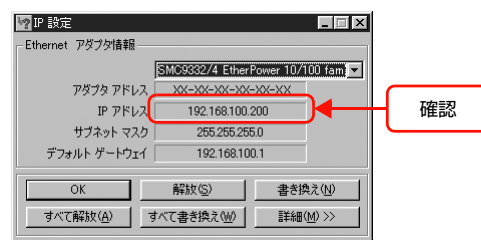
PING コマンドによる通信確認方法

TCP/IP ネットワーク環境で、パソコンに設定された IP アドレスと本製品に設定した IP アドレスを確認してから、パソコンと本製品の通信ができているか確認します。

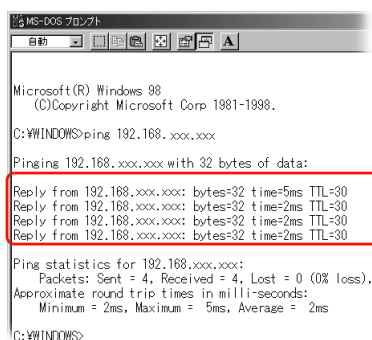
本書 94 ページ「Windows 98/Me で確認する」
本書 96 ページ「Windows 2000/XP で確認する」
本書 97 ページ「Mac OS X で確認する」

Windows 98/Me で確認する

1 ［スタート］-［ファイル名を指定して実行］の順にクリックします。

2 ［名前］欄に［winipcfg］と入力して、［OK］をクリックします。

3 IP アドレス欄を確認します。

4 IP アドレスの確認ができたら、［OK］をクリックします。

5 本製品の IP アドレスを確認します。
IP アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
「準備ガイド」（紙マニュアル）

6 ［スタート］-［プログラム］-［MS-DOS プロンプト］の順にクリックします。
Windows Me：［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［MS-DOS プロンプト］の順にクリック

7 キーボードから［ping］スペース［本製品の IP アドレス］を入力して、［Enter］キーを実行します。

8 通信しているときは、図 1 のように［Reply from (本製品の IP アドレス)］が表示されます。通信していないときは画面に［Destination host unreachable］や、図 2 のように［Request timed out］が表示されます。通信していないときは、各機器のネットワーク設定を確認してください。

以上で PING コマンドによる通信確認方法は終了です。

Windows 2000/XP で確認する

1 **[スタート] - [すべてのプログラム(またはプログラム)] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] の順にクリックします。**

2 **キーボードから [ipconfig] と入力して、[Enter] キーで実行します。**

3 **IP アドレスを確認します。**

「Ethernet adapter ローカルエリア接続」の「IP Address」を確認します。

4 **本製品の IP アドレスを確認します。**

IP アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。

☞「準備ガイド」(紙マニュアル)

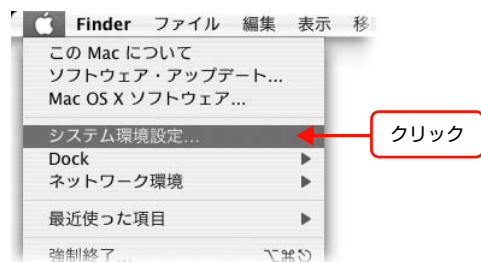
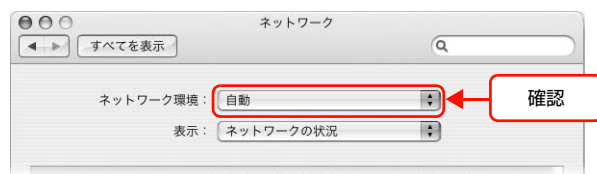
5 **キーボードから [ping] スペース [本製品の IP アドレス] を入力して、[Enter] キーを実行します。**

6 **通信しているときは、図 1 のように [Reply from (本製品の IP アドレス)] が表示されます。通信していないときは画面に [Destination host unreachable] や、図 2 のように [Request timed out] が表示されます。通信していないときは、各機器のネットワーク設定を確認してください。**

図 1　図 2

以上で PING コマンドによる通信確認方法は終了です。

Mac OS X で確認する

1 ［アップル］メニュー - ［システム環境設定］の順にクリックします。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックして、［ネットワーク環境：］で［自動］が選択されていることを確認します。

3 ［表示］リストから［内蔵 Ethernet］を選択します。

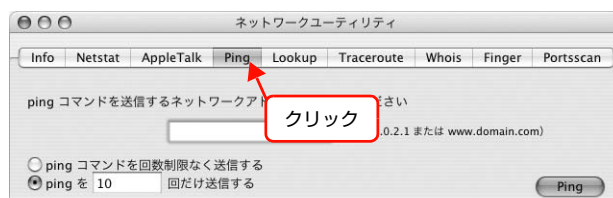
4 ［TCP/IP］タブをクリックします。

5 ［IPv4 の設定］リストから、ネットワーク環境に合わせ項目を選択します。
DHCP サーバを使用している場合は［DHCP サーバを参照］を選択、IP アドレスを固定で使用している場合は［手入力］を選択します。

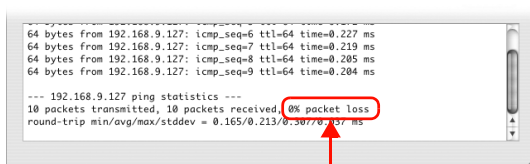
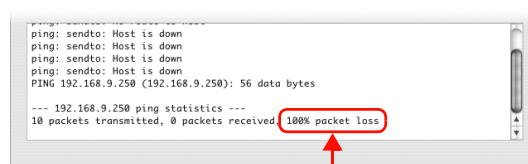
6 ［IP アドレス］を確認します。

7 **本製品の IP アドレスを確認します。**
IP アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
「準備ガイド」（紙マニュアル）

8 **[Macintosh HD] - [アプリケーション] - [ユーティリティ] - [ネットワークユーティリティ] の順にダブルクリックします。**

9 **[Ping] タブをクリックします。**

10 **ネットワークアドレス入力欄に本製品の IP アドレスを入力します。**
本製品の IP アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
「準備ガイド」（紙マニュアル）

11 **[Ping] をクリックします。**

12 **通信しているときは、送信した信号がすべて返信されるため、図 1 のように [0% packet loss] が表示されます。通信していないときは、送信した信号がすべて返信されないため、図 2 のように [100% packet loss] が表示されます。通信していないときは、各機器のネットワーク設定を確認してください。**

以上で PING コマンドによる通信確認方法は終了です。

プリンタ情報確認機能（Windows）

Windows Me 以降の OS では、本製品をネットワークに接続しただけで、各 OS から本製品の情報が確認できる機能があります。これをユニバーサルプラグアンドプレイ機能といいます。ユニバーサルプラグアンドプレイを使用するには、コンポーネントのインストールとパソコンのネットワークインターフェイスの設定が必要です。
本書 101 ページ「ユニバーサルプラグアンドプレイのインストール」

ユニバーサルプラグアンドプレイ機能

デバイスアイコンの自動表示

本製品（ネットワークインターフェイス）をネットワークに接続するだけで、［マイネットワーク］画面にデバイスアイコンが表示されます。

プリンタ情報の表示

自動表示されたデバイスアイコンをダブルクリックすると、本製品の簡易情報が表示されます。
本製品の簡易情報表示には、Web ブラウザを使用します。Web ブラウザは、以下のものをお使いいただけます。

- Windows：Internet Explorer Ver 6.0 以降

本書 75 ページ「EPSON Web Config の使い方」

本製品のネットワークインターフェイス情報の表示

自動表示されたデバイスアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択すると、本製品のネットワークインターフェイスの簡易情報（IP アドレスなど）が確認できます。

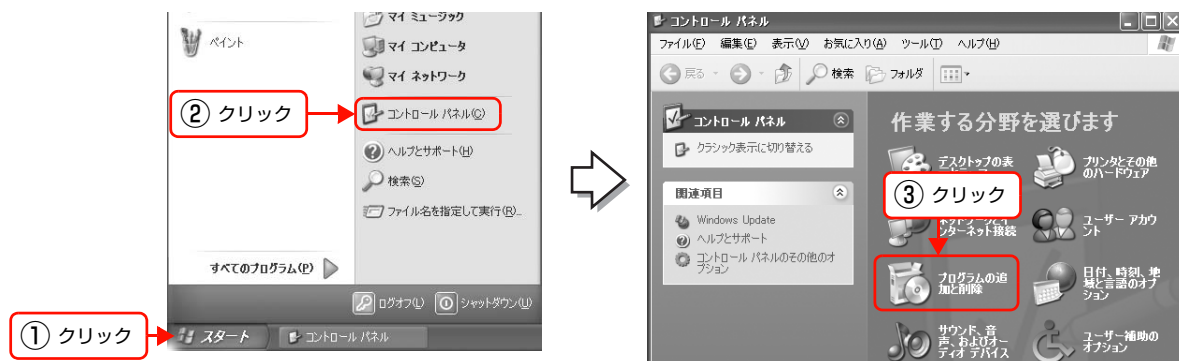
IP アドレスの自動設定

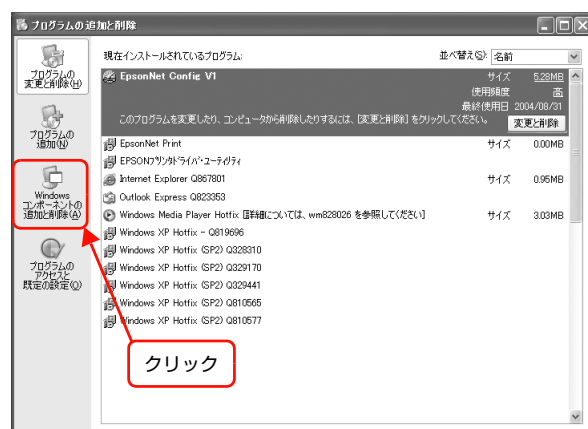
セグメント内で適切な IP アドレスが自動的に割り当てられる（DHCP サーバまたは UPnP の機能によって、本製品の IP アドレスが自動的に設定される）ため、本製品の IP アドレス設定が不要です。
ただし、TCP/IP 印刷をするときは、手動で IP アドレスを設定することをお勧めします。

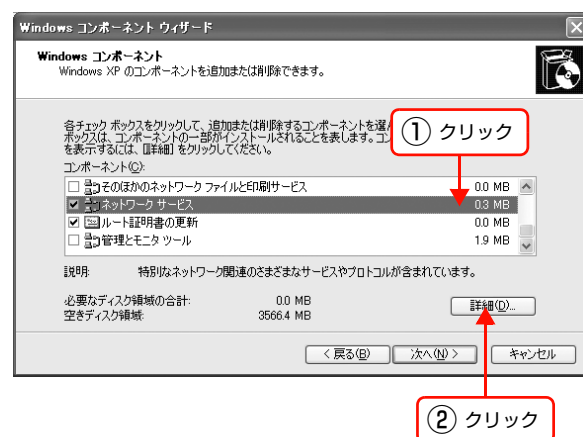
ユニバーサルプラグアンドプレイのインストール

Windows XP/Me を例にして説明します。

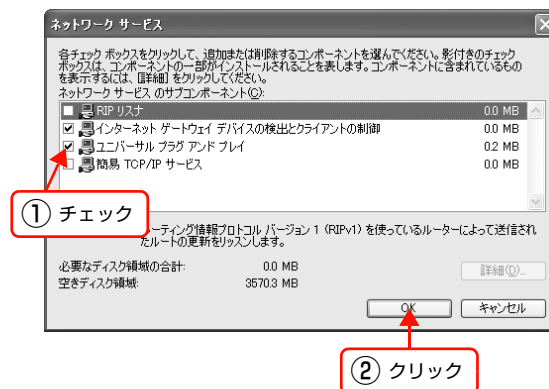
1 **［スタート］-［コントロールパネル］-［プログラムの追加と削除］をクリックします。**

Windows Me：［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックして、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリック

2 **［Windows コンポーネントの追加と削除］をクリックします。**

Windows Me：
［Windows ファイル］タブをクリック

3 **コンポーネントから［ネットワークサービス］を選択して、［詳細］をクリックします。**

Windows Me：
［コンポーネントの種類］一覧の［通信］をクリックして［詳細］をクリック

4

［ユニバーサルプラグアンドプレイ］または［UPnP ユーザーインターフェイス］にチェックを付けて、［OK］をクリックします。

チェックが付いているときはインストール済みですので、［キャンセル］をクリックしてください。

5

［次へ］をクリックします。

Windows Me：［コンポーネントの種類］一覧で、［OK］をクリック

インストールが始まります。

Windows を CD-ROM からセットアップした場合は、その CD-ROM をパソコンにセットすることを要求するメッセージが表示されます。

6

インストールが終了したら、パソコンを再起動します。

以上で終了です。

EPSON プリンタウィンドウの制限

本製品をネットワーク環境で使用する場合と、ローカル（直接）接続して使用する場合とで、「EPSON プリンタウィンドウ」の動作が以下のように異なります。

ここでは、Windows XP の画面を例に説明します。なお、その他の Windows および Mac OS でも、画面の表示内容は同様です。

> **! 注意** 本製品とパソコンをローカル（直接）接続していても、ネットワーク共有設定をしているときは同様の動作制限があります。

紙なし / 紙詰まり時のエラー解除

紙なし / 紙詰まりが発生したとき、直接接続しているときは画面上に［給紙］または［排紙］が表示されますが、ネットワークを介して接続しているときは、これらのボタンが表示されません。画面の指示に従ってエラーに対処してください。

直接接続しているとき（ローカル接続時）

ネットワークを介しているとき

印刷可能枚数

［インク残量］が半分に満たないインクがある場合、直接接続しているときは「EPSON プリンタウィンドウ」に残りの印刷可能枚数を表示しますが、ネットワークを介して使用しているときは、残りの印刷可能枚数が表示されません。

直接接続しているとき（ローカル接続時）

ネットワークを介しているとき

プリンタエラー状態での印刷中止

プリンタエラーを伝える画面（前項目の「紙なし / 紙詰まり時のエラー解除」の画面など）が表示されたときや直接接続しているときは、表示画面上の［印刷中止］をクリックすることで印刷を中止できますが、ネットワークを介して使用しているときは、［印刷中止］をクリックしただけでは印刷を中止できません。

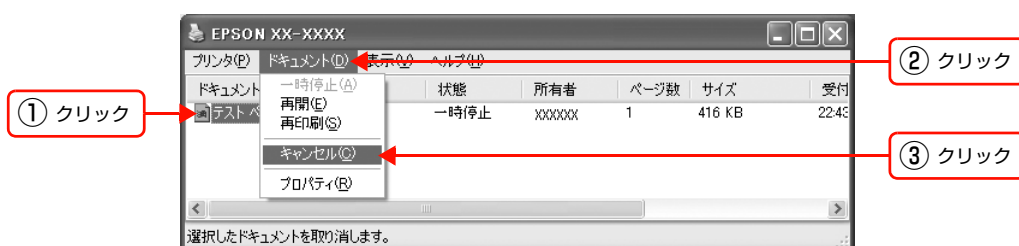
印刷を中止するときは、以下の手順に従ってください（Mac OS の場合は手順 4 のみしてください）。

1 「EPSON プリンタウィンドウ」に表示される内容に従って、エラー状態を解除してください。

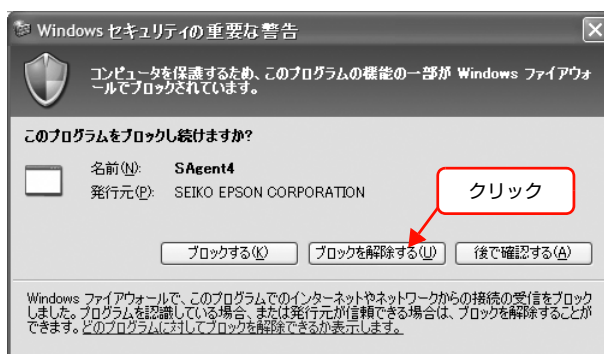
2 ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックして、印刷を中止するプリンタアイコンをダブルクリックします。

Windows 98/Me/2000：［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックして、プリンタアイコンをダブルクリック

3 印刷データをクリックして、［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。

Windows 98/Me：［ドキュメント］メニューの［印刷中止］をクリック

4 本製品の電源をオフにします。

Windows セキュリティの重要な警告

Windows XP（Service Pack 2）では、以下の警告が出ることがあります。そのときは［ブロックを解除する］をクリックしてください。

用語集

16 進数
0 ～ 9 の数字と、a ～ f までのアルファベット 6 文字を数字として用いて表現する。

A

AES（エーイーエス）
Advanced Encryption Standard。米国政府内での情報処理用に採用された“次世代標準暗号化方式”のこと。規定の基準（暗号強度、処理速度など）を満たしており、その仕様も公開されていることから、広い分野で利用されている。また、IEEE802.11i の暗号化方式の 1 つに採用されている。

APIPA（エーピーアイピーエー）
Automatic Private IP Addressing。ネットワーク機器に対して IP アドレスを自動的に割り当て、利用するための機能。DHCP サーバが存在しない小規模なネットワークなどで、IP アドレスの割り当てと管理を行う。APIPA を利用することによって、ユーザーはネットワークの IP アドレスを意識することなく、ネットワーク上のほかのクライアント等と通信できる。

ARP（アープ）
Address Resolution Protocol。TCP/IP プロトコル群に属するアドレス解決プロトコル。ホストの IP アドレスから MAC アドレスを検索するときに用いる。相手のホストが保持している IP アドレスと MAC アドレスの対応法を変更する場合にも使う。

B

Bonjour（ボンジュール）
Mac OS X v10.4 から採用された LAN 内の通信プロトコル。Mac OS X v10.3 までは Rendezvous（ランデブー）といわれていた。IETF（Internet Engineering Task Force）で議論されている「Zeroconf」という技術がベースになっている。TCP/IP ネットワーク上で動作し、IP アドレスの自動割り当て、IP アドレスに対するサービス名の割り当て、LAN 内の Bonjour/Redezvous 対応機器の認識という 3 つの作業を自動で行う。

D

DHCP（ディーエイチシーピー）
Dynamic Host Configuration Protocol。パソコンの IP アドレスやデフォルト・ゲートウェイなどの TCP/IP 関連情報をサーバに問い合わせて自動的に設定するプロトコル。クライアントの起動時に、サーバが空いている IP アドレスを自動的に割り当てる。

DNS（ディーエヌエス）
Domain Name System。ネットワーク上のパソコン名と、その IP アドレスとの対応付けを行う仕組み。IP アドレスは 4 桁の 8 ビット単位での数値のため、人間にとっては覚えにくい。そこで、人間が覚えやすいような名前（ドメイン名）との対応を保存しておき、必要に応じてドメイン名から IP アドレスへの変換を行う。変換を行うサーバを DNS サーバという。

F

FQDN（エフキューディーエヌ）

Fully Qualified Domain Name。インターネットやイントラネット等の TCP/IP ネットワーク上でホスト名に続けてドメイン名まで省略せずにすべて指定した記述形式のこと。

例えば「LP-XXXX-XXXXX.epson.jp」のようにホスト名（LP-XXXX-XXXXX）、ドメイン名（epson.jp）のすべてを指定した形式のこと。

I

IEEE（アイトリプルイー）

IEEE（Institute of Electrical and Electronic Engineers：米国電気電子学会）。IEEE には 11 のワーキンググループを抱える 802 委員会があり、無線 LAN 規格の標準化を行っている。11 ワーキンググループは、a/b/g などと規格ごとにさらに細分化されている。

IP（アイピー）

TCP/IP における、ネットワーク層のプロトコル。ネットワークに接続しているデバイスの識別番号（アドレス）割り当てや、ネットワーク内での通信経路の選択（ルーティング）をするための方法を定義している。インターネットでは、IP によって相互の接続と通信を可能としている。

IP アドレス（アイピーアドレス）

IP による通信でネットワーク内の各パソコンに割り振られる番号（アドレス）のこと。国内では日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）が IP アドレスの登録手続きを代行しており、ここから世界的にユニークな IP アドレスを取得できる。

L

LPR（エルピーアール）

Line Printer Daemon Protocol。BSD UNIX で使われてきたリモート印刷プロトコル。TCP/IP 上で動作する。

M

MAC アドレス（マックアドレス）

Media Access Control アドレス。ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレス。

MAC アドレスフィルタリング（マックアドレスフィルタリング）

アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）が、各 Ethernet カードに固有の ID 番号である MAC アドレスを識別することで通信を制限するセキュリティ技術。あらかじめ登録されている MAC アドレスを持つデバイスのみ通信を許可する。

MDI/MDI-X（エムディーアイ / エムディーアイエックス）

MDI は Medium Dependent Interface。LAN ケーブルを使う Ethernet 機器のポートの種類の一つ。端子の 1、2 番に送信、3 ～ 6 番に受信が割り当てられている。本製品のネットワークインターフェイスのポートがこのタイプとなる。MDI-X は Medium Dependent Interface Crossover。MDI ポートからの信号を受信できるよう、MDI と送受信が入れ替わっており、端子の 1、2 番に受信、3 ～ 6 番に送信が割り当てられている。ハブやスイッチのポートがこのタイプとなる。MDI と MDI-X の接続にはストレートケーブルを、MDI 同士や MDI-X 同士の接続にはクロスケーブルを用いる。

MIB(ミブ)
Management Information Base。ネットワーク管理のための SNMP（Simple Network Management Protocol）マネージャと SNMP エージェントとでやりとりされるネットワーク管理のための一種のデータベースで、100 以上のオブジェクト（管理対象）を含むテーブルになっている。管理対象となる機器ごとに MIB を持つ。

P

PING(ピング)
TCP/IP が実装されたパソコン間で送受信テストをして、接続の確認に使用するコマンド。LAN 環境もしくはパソコン自体の設定に障害が発生している場合、障害箇所を特定する際に、まずローカル・ホストに対して ping コマンドを実行して、正常に TCP/IP が実装されているか確認する。

R

Rendezvous(ランデブ)
Mac OS X v10.2 から採用された LAN 内の通信プロトコル。IETF（Internet Engineering Task Force）で議論されている「Zeroconf」という技術がベースになっている。TCP/IP ネットワーク上で動作し、IP アドレスの自動割り当て、IPアドレスに対するサービス名の割り当て、LAN内のRendezvous 対応機器の認識という３つの作業を自動で行う。Mac OS X v10.4 以降では Bonjour（ボンジュール）と名称が変更された。

S

SNMP(エスエヌエムピー)
Simple Network Management Protocol。TCP/IP ネットワーク管理の標準プロトコルで、ネットワークの構成や、HUB、ルータなどのネットワーク機器に関しての管理情報のやり取りに使用される。ネットワーク管理システムは「マネージャ」、ネットワーク機器は「エージェント」などといわれる。

SSID(エスエスアイディー)
無線通信時の混信を避けるために付けられる識別子（ネットワーク名）。ESSID と呼ぶ場合もある。IEEE802.11 シリーズの無線 LAN におけるネットワークで使用され、最大 32 文字までの英数字を用いて任意に設定する。
SSID は十分なセキュリティを備えていないため、別途 WEP（ウェップ）キーなどを設定する必要がある。

T

TCP/IP(ティーシーピーアイピー)
Transmission Control Protocol/Internet Protocol。インターネット標準の通信プロトコル。RFC（Request for Comments）の形で公開されているため、広く普及している。

TKIP(ティーキップ)
Temporal Key Integrity Protocol。暗号化方式の一種で、WPA の暗号化方式として採用されている。PSK といわれる“事前共有鍵”を元に暗号化キーを一定のデータ量また時間毎に生成し、暗号化を行う。

U

UPnP(ユーピーエヌピー)
Universal Plug and Play。Microsoft の新技術で、Windows Me で機能が提供されている。Web ベースのプロトコルを使って各種のデバイスが互いに存在を確認しあい、やり取りできるようにするもの。例えばプリンタをネットワークに接続するだけで、ネットワーク上でプリンタを認識できる。

W

WEP(ウェップ)
Wired Equivalent Privacy。無線通信における暗号化技術。無線通信は傍受が極めて容易であるため、送信されるパケットを暗号化して傍受者に内容を知られないようにすることで、有線通信と同様の安全性を持たせようとしている。

本製品では以下の WEP キーをサポートしている。

ASCII 文字を選択した場合は半角英数字記号（大文字と小文字は別の文字として扱われます）、16 進数を選択した場合は 0 ～ 9 の数字および a ～ f のアルファベットで入力する。

	ASCII	16 進数
WEP-64bit（40bit）	5 文字	10 桁
WEP-128bit（104bit）	13 文字	26 桁

WPA、WPA2(ダブリューピーエー、ダブリューピーエーツー)
Wi-Fi Protected Access。無線 LAN の業界団体 Wi-Fi Alliance が発表した、無線 LAN の暗号化方式の規格。従来採用されてきた WEP の弱点を補強し、セキュリティ強度を向上させたもの。

本製品では WPA-PSK（TKIP）および WPA2-PSK（AES）をサポートしており、パスワードで入力できる文字は、8 ～ 63 文字の半角英数記号（大文字と小文字は別の文字として扱われます）となる。

あ

アクセスポイント
無線機器間の通信を中継する装置。また、有線 LAN と無線 LAN の橋渡しをする装置。

アドホック
アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を介さずに機器同士が直接、無線通信を行なうモード。

い

インフラストラクチャ
無線 LAN の通信方式の 1 つ。アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を介して通信を行なうモード。

お

オープンシステム認証
無線通信で、SSID のみを使用して通信を行う認証方法。通信開始時には、通信する無線 LAN の SSID を指定する。SSID と WEP キーを組み合わせて使用する認証方式は、共有キー認証という。

き

共有キー認証
無線通信で、SSID と WEP キーを組み合わせて通信を行う認証方法。通信が暗号化されるのでセキュリティの強度が増す。通信開始時には、通信する無線 LAN の SSID と WEP キーを指定する。SSID のみを使用する認証方式は、オープンシステム認証という。

く

グローバルアドレス
インターネットに接続された機器に、一意に割り当てられた IP アドレス。インターネットの中での識別番号を指す。インターネット上で通信を行なうためには必ず必要である。IP アドレスの重複を避けるため、各国の業界団体 NIC が割り当てを行う。

け

ゲートウェイ
クライアントのアクセスを代行する代理サーバ。企業では一般に社内 LAN とインターネットの間にゲートウェイ・サーバを設置し、社内 LAN からはゲートウェイ・サーバ経由でインターネットへアクセスする。異なるプロトコルのシステムやネットワークを相互に接続する。中継機能専用のパソコンはルータといい、ゲートウェイとは区別する。

さ

サブネットマスク
TCP/IP ネットワークでは、同じネットワーク部を持ったパソコン同士が通信できる。したがってネットワーク部とホスト部とを区別する必要があり、その際に使用されるのがサブネットマスク。サブネットマスクは IP アドレス同様に 32 ビットからなり、クラス C では 24 ビット（255.255.255.0）が標準で使用される。

し

シールドツイストペアケーブル
電線を 2 本ずつより合わせて対にしたケーブル。LAN ケーブルや電話のモジュラーケーブル、USB ケーブルなどに使われている。電気干渉に強い構造となっているものを、シールド型という。

た

ダイナミック DNS
IP アドレスとホスト名の組み合わせを動的に更新する DNS。これにより、ホストの IP アドレスが DHCP によって変わっても、ホスト名は維持される。LAN 内にダイナミック DNS 対応の DHCP サーバが必要。

ち

チャンネル
近接したエリアに同じ規格の無線があるときに、互いの電波干渉を防ぐための機能。
IEEE802.11b では 1 〜 14 の間で 5 チャンネル間隔で 4 チャンネルまで IEEE802.11g では 1 〜 13 チャンネルの間で同じく 3 チャンネルまで選択が可能。

ね

ネットワーククラス
IP アドレスは、ネットワーク ID とホスト ID の区切り位置によって、A、B、C の 3 つのクラスに分けられる。たとえば、クラス A は、IP アドレスの上位 8 ビットがマスクされている。どのクラスに属するかは、企業などが IP アドレスを取得する際に決定する。

は

ハブ
ネットワークを構築する際に必要な集線装置。複数本のシールドツイストペアケーブルをRJ-45モジュラージャックで接続し、スター型LANを構築する。

ふ

プライベートアドレス
組織内のネットワーク機器に割り当てられたIPアドレス。ローカルアドレスとも呼ぶ。プライベートアドレスは、業界団体NICに申請を行わなくても組織内で自由に割り当てることができる。ただし、インターネットを通じて通信を行なうにはグローバルアドレスが必要となる。

フレームタイプ
ネットワーク上の通信（Workstation ← packet → Client）で、パケットに定義されているもの。サーバがサポートするフレームタイプに合わせて設定する。

プロキシサーバ
インターネットと接続する際に、セキュリティを確保するために設置されるサーバ。

ほ

ポート番号
TCPやUDPが備える機能で、複数アプリケーションを同一パソコンまたはサーバ上で扱うための仕組み。サーバやパソコンは、インターネットから受信したパケットを、ポート番号によって引き渡すアプリケーションを特定する。

ゆ

ユニバーサルプラグアンドプレイ
UPnP（Universal Plug and Play）。Microsoftの技術で、ネットワーク上のデバイスを自動的に認識する機能。この機能はWindows Me以降で提供されている。

る

ルータ
ネットワーク上でやりとりされるデータを、他のネットワークに経由するための装置。データをどの経路を通して転送すべきかを判断する、経路選択（ルーティング）機能を持っている。

ろ

ローミング処理
1つのネットワークに複数のアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）があるときに、通信距離に関わらず、通信強度がより強いアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）へ自動で接続先を切り替える機能。

索引